

(8) 気仙沼港

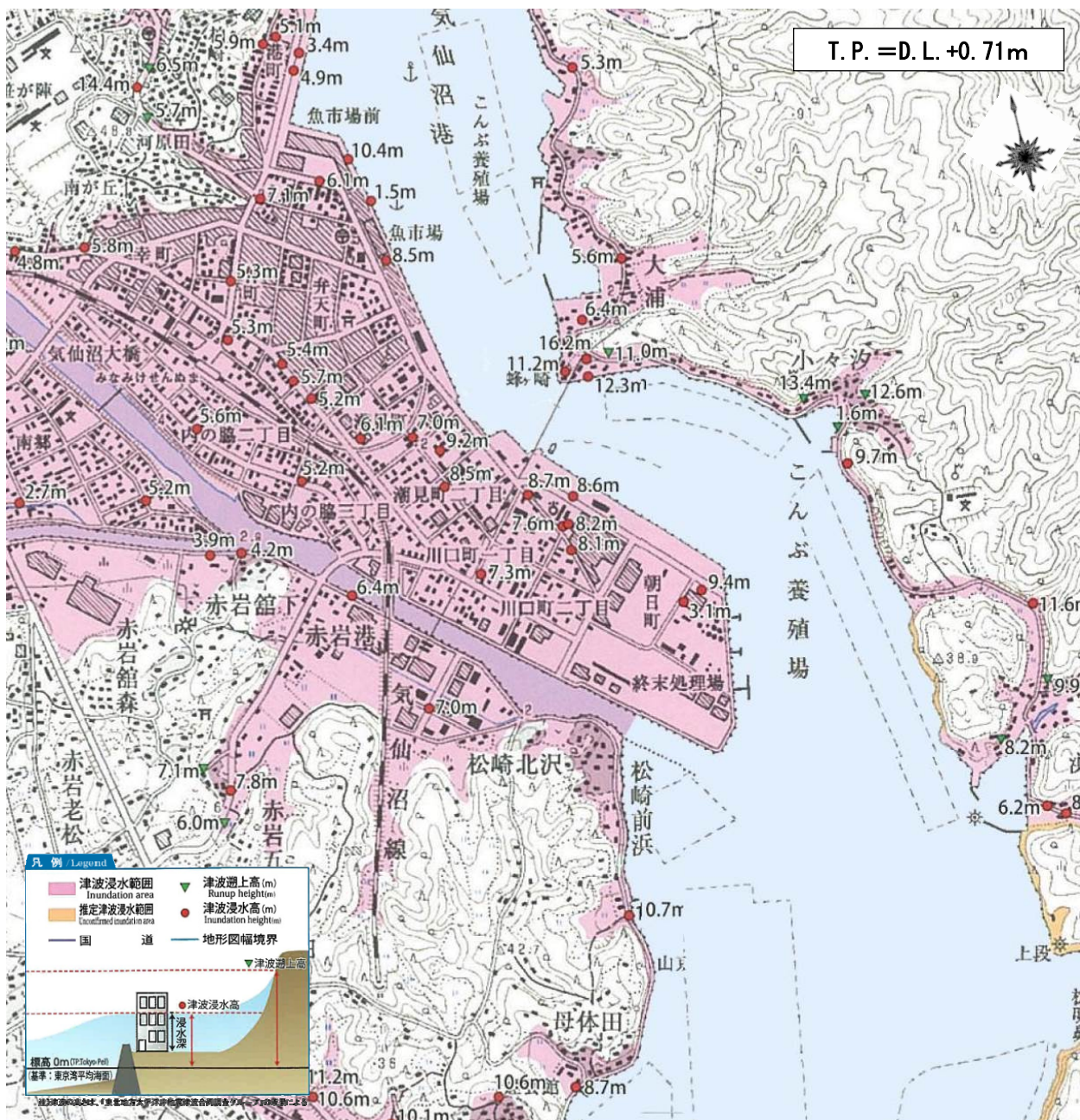


図-A.8.1 気仙沼港 浸水域，痕跡高¹⁾

気仙沼港 係留施設（補助分）



図－A. 8. 2 気仙沼港の被災港湾施設（係留施設，補助） 1)に加筆

表－A. 8. 1 気仙沼港の被災施設一覧（係留施設，補助）

No.	被災状況	完成年度	延長	構造形式	水深	天端高	設計震度	被災延長
1	朝日地区_ -4.5m 1号岸壁	昭和42年	60m	控え矢板	-4.5m	+2.80m	—	—
	朝日地区_ -4.5m 2号岸壁	昭和46年	60m	控え矢板	-4.5m		—	—
	朝日地区_ -4.5m 3号岸壁	昭和46年	60m	控え矢板	-4.5m		—	—
2	朝日地区_ -7.5m 1号岸壁	昭和46年	130m	控え矢板	-7.5m	+3.00m	—	—
	朝日地区_ -7.5m 2号岸壁	昭和46年	130m	控え矢板	-7.5m		—	—
3	朝日地区_ -7.5m 3号岸壁	昭和60年	130m	控え矢板	-7.5m	+3.00m	—	—

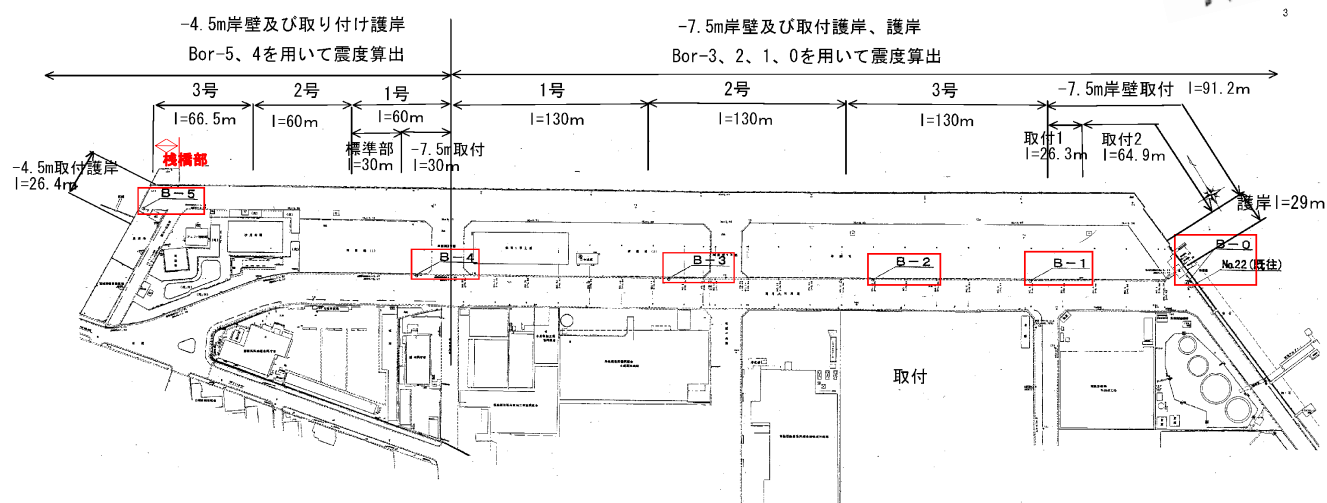


図-A.8.3 No.1 朝日地区_-4.5m1~3号岸壁土質調査位置図

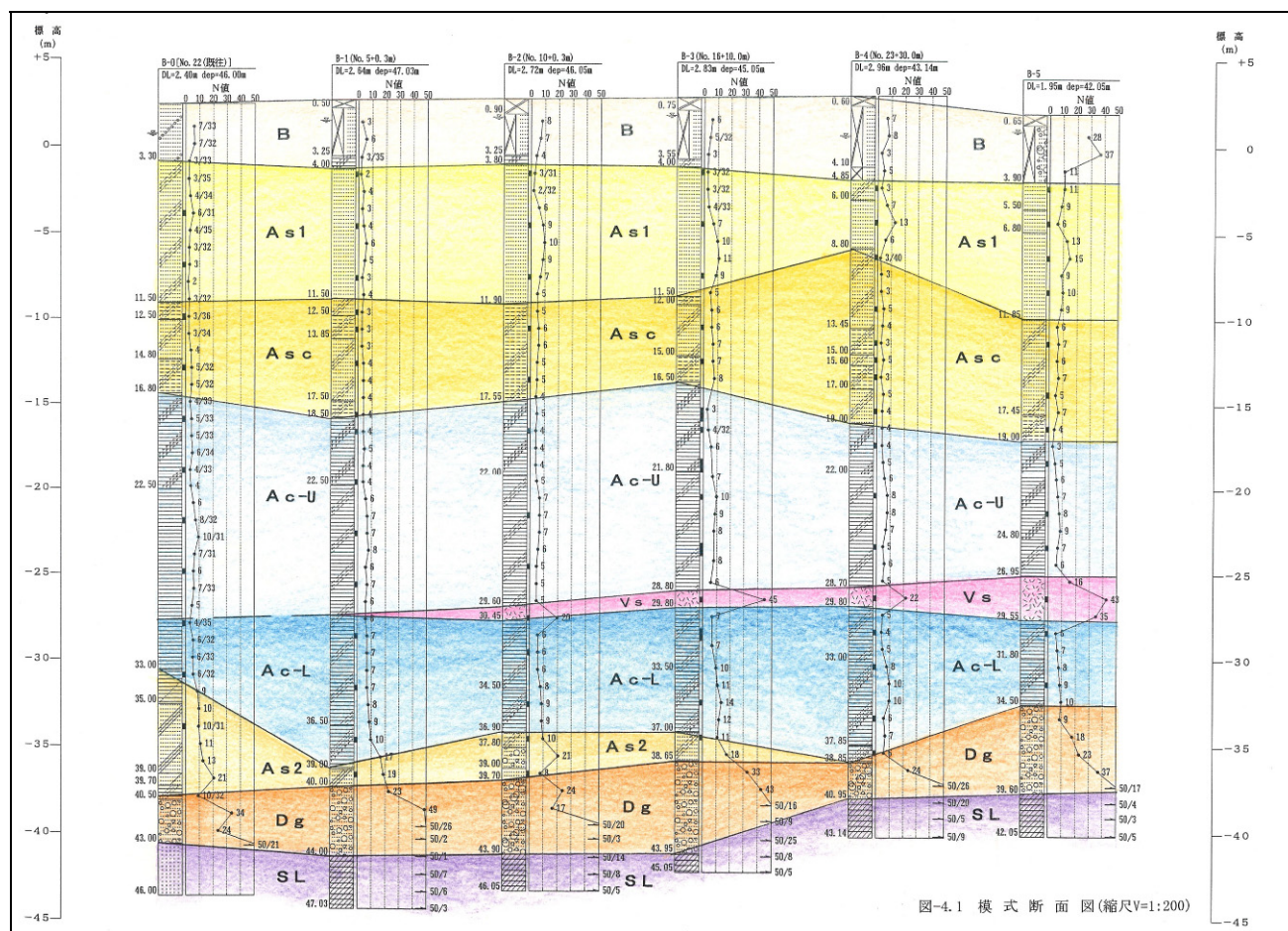


図-A.1 模式断面図(縮尺V=1:200)

図-A.8.4 No.1 朝日地区_-4.5m1~3号岸壁土質縦断面図

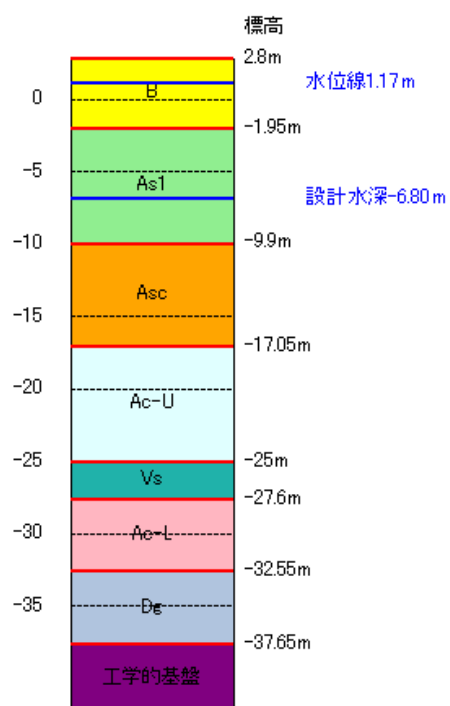


図-A. 8. 5 No. 1 朝日地区_4. 5m1~3 号岸壁 B-5 土層図

(1) A, B, C, F 断面

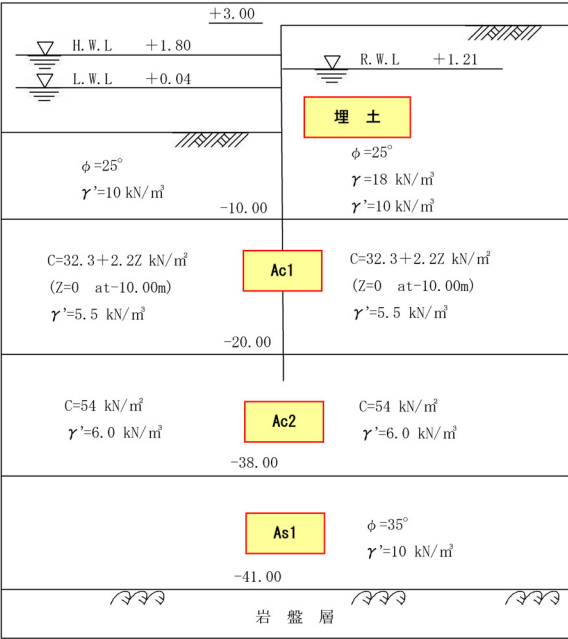
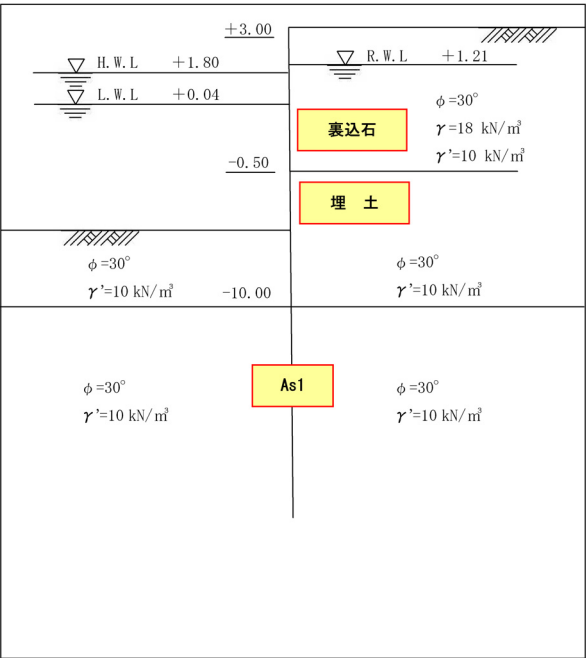


図 3.2.1 地盤モデル図 (A, B, C, F 断面)

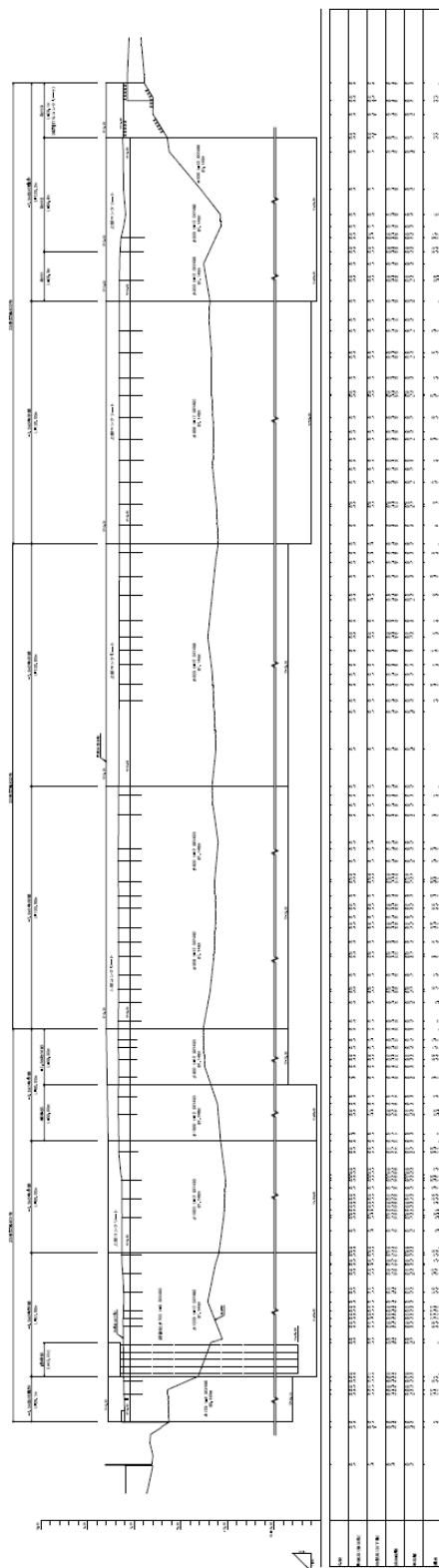
(2) D, E 断面



地盤モデル図②(D, E 断面)

図一A. 8. 6 No. 1 朝日地区_4. 5m1～3 号岸壁土層断面図

朝日町地区_岸線 横断面 断面図



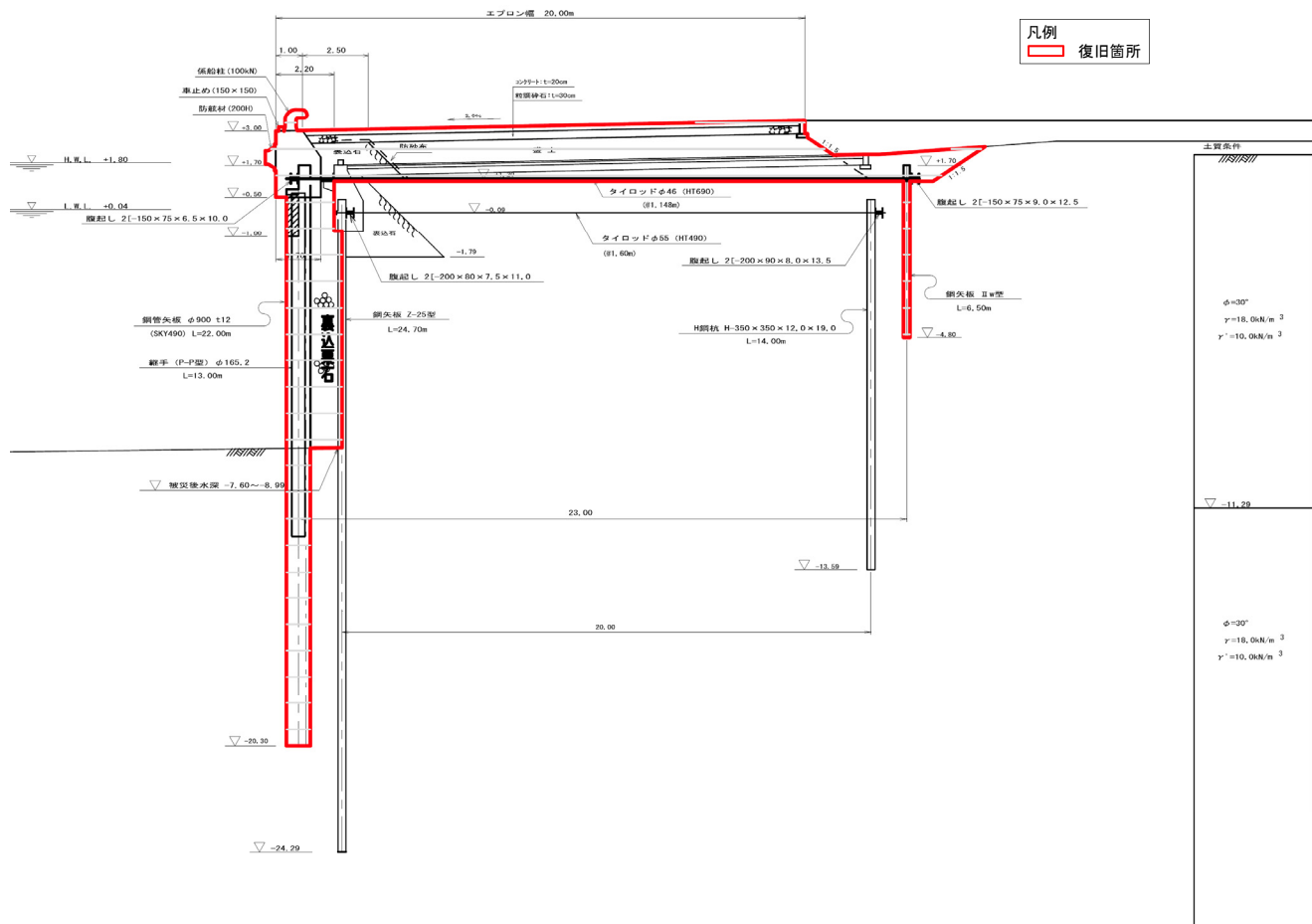


図-A.8.8 No.1 朝日地区_4.5m1号岸壁(-7.5m取付)断面図(復旧後)

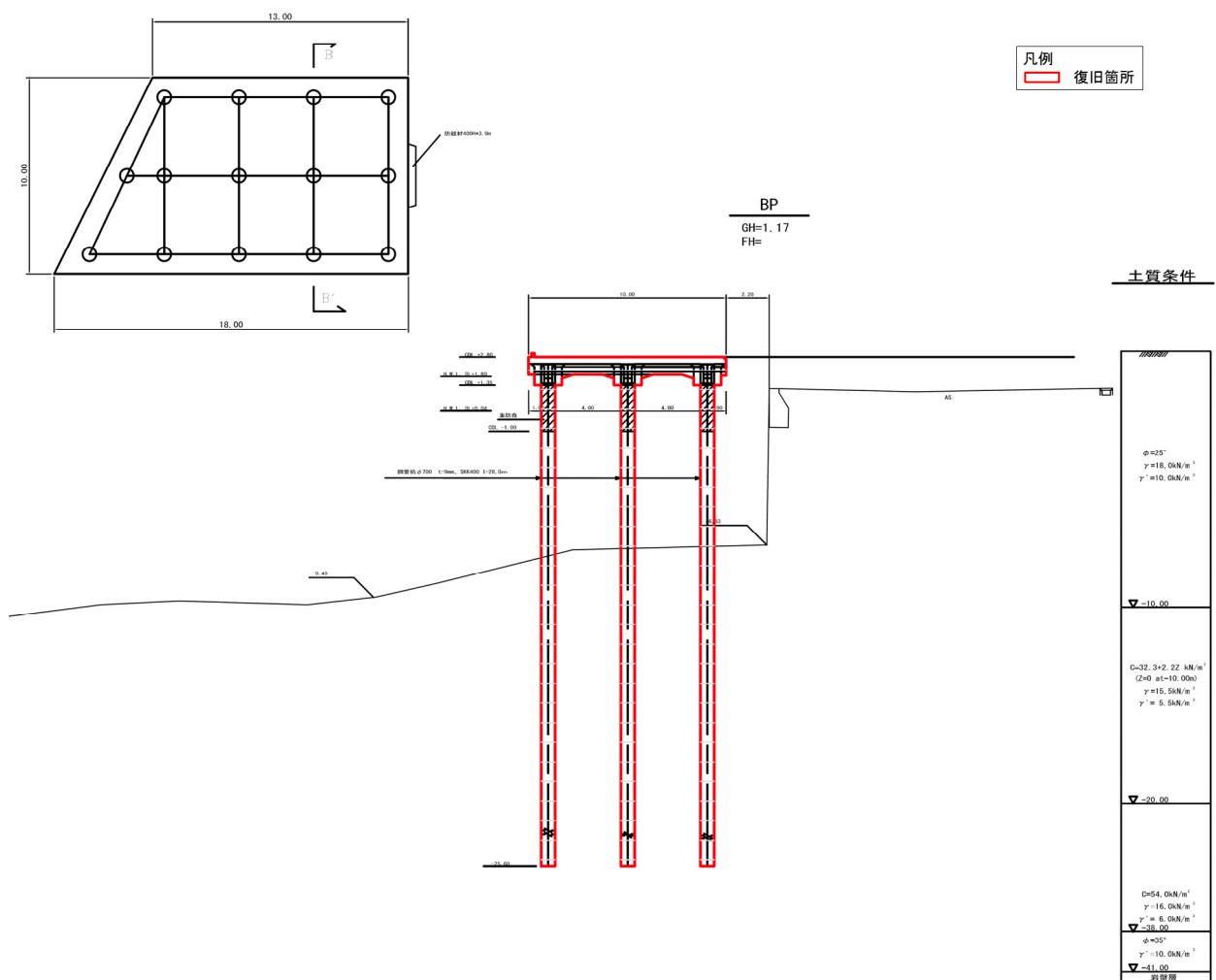


図-A.8.12 No.1 朝日地区_-4.5m3 号岸壁(栈橋部)断面図(復旧後)

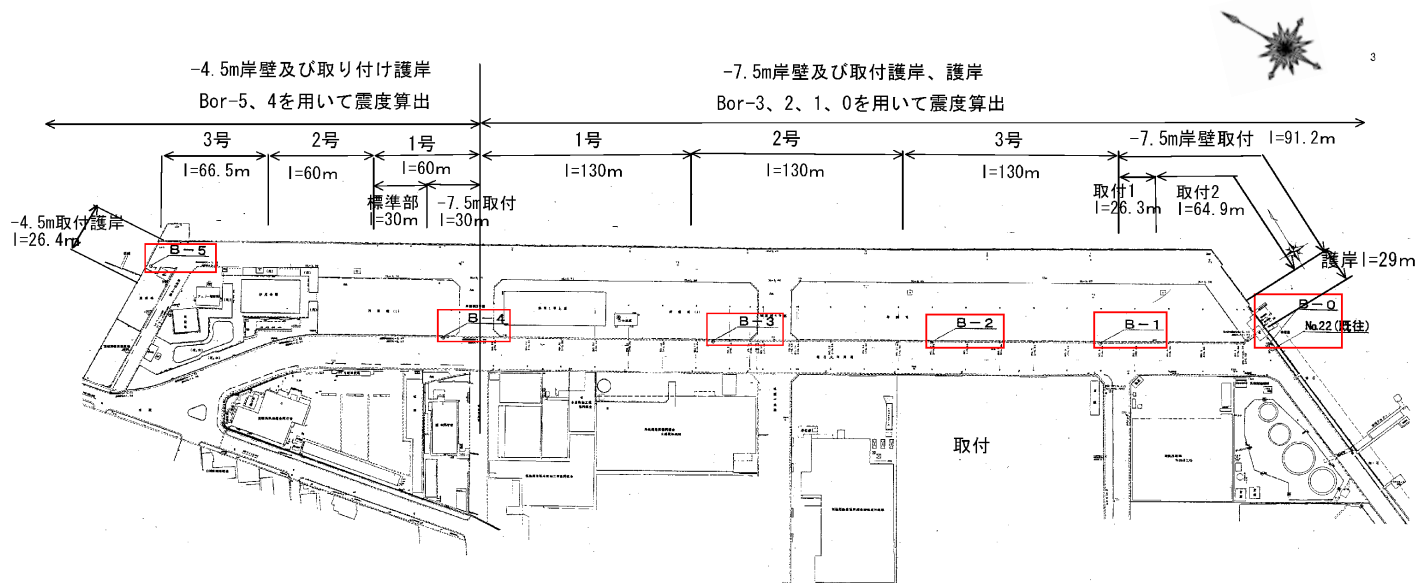


図-A.8.13 No.2 朝日地区_-7.5m1,2号岸壁土質調査位置図

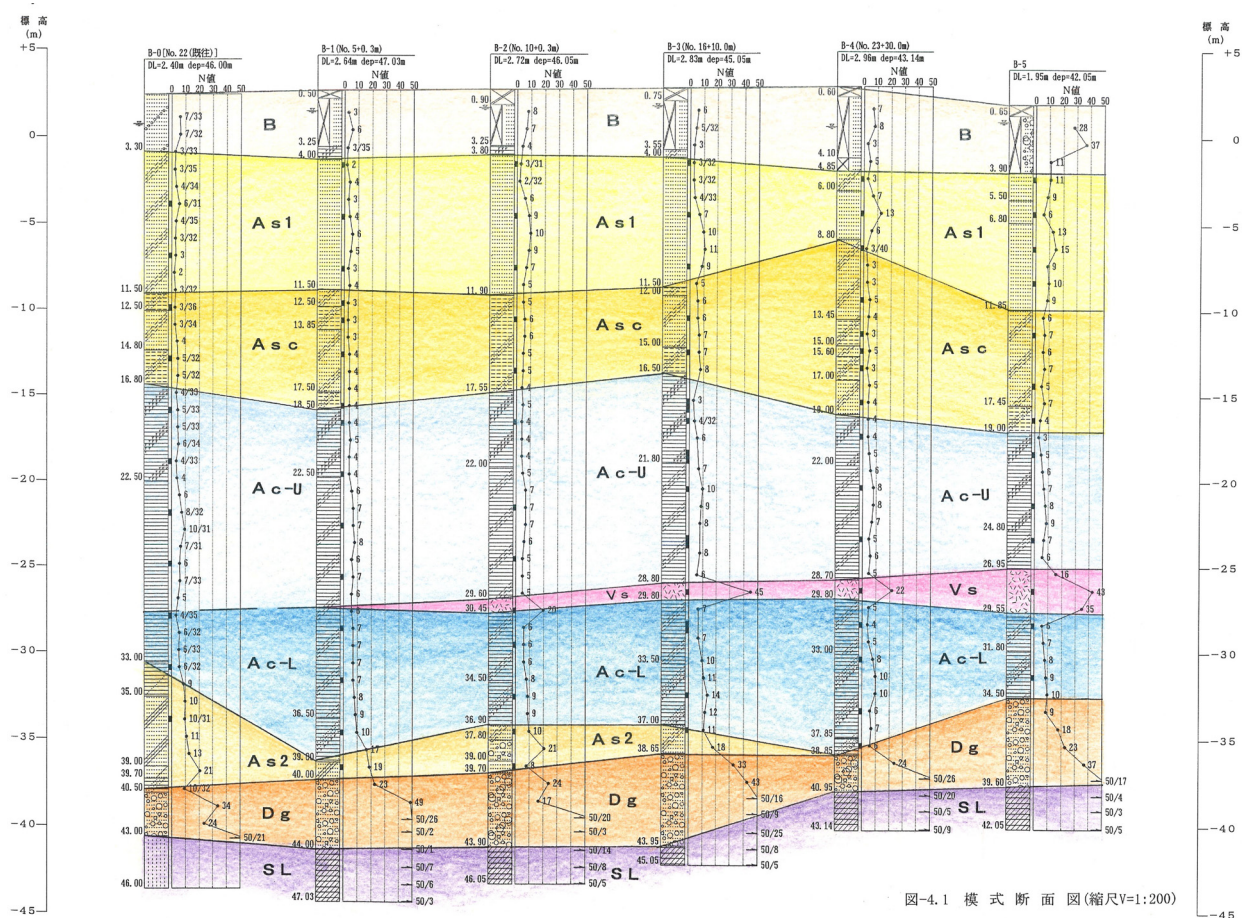


図-A.8.14 No.2 朝日地区_-7.5m1,2号岸壁土質縦断面図

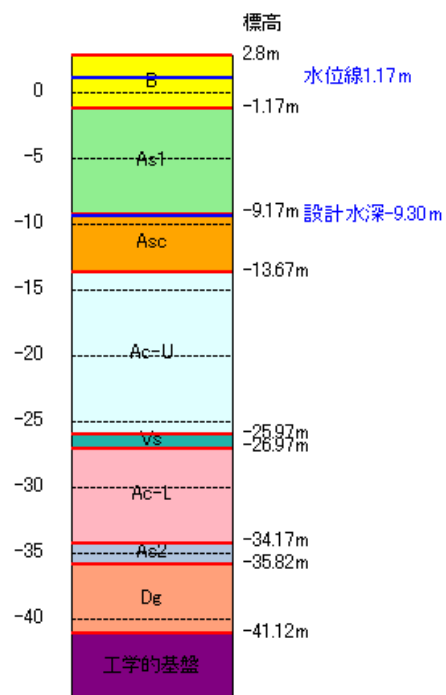


図-A. 8. 15 No. 2 朝日地区_-7. 5m1, 2 号岸壁 B-3 土層図

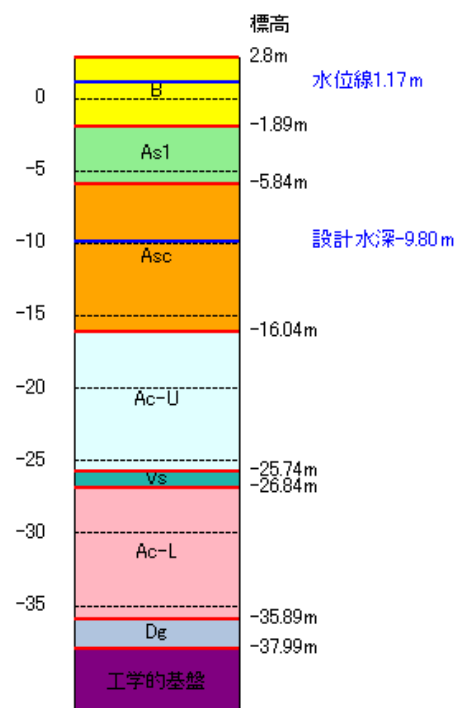


図-A. 8. 16 No. 2 朝日地区_-7. 5m1, 2 号岸壁 B-4 土層図

(1) A, B, C, F 断面

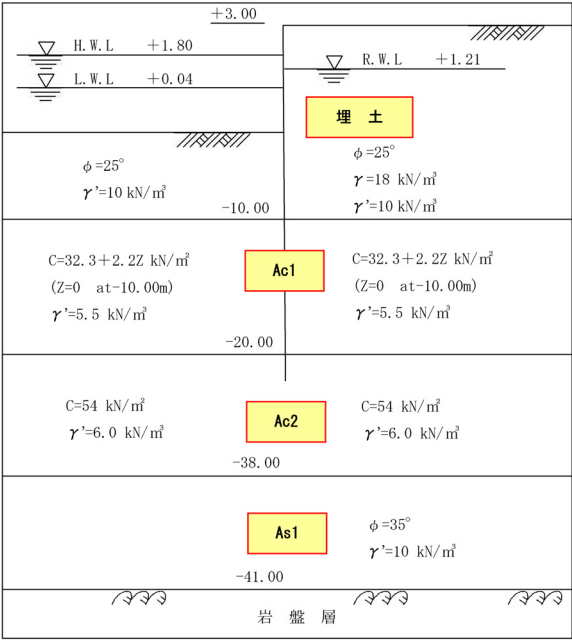
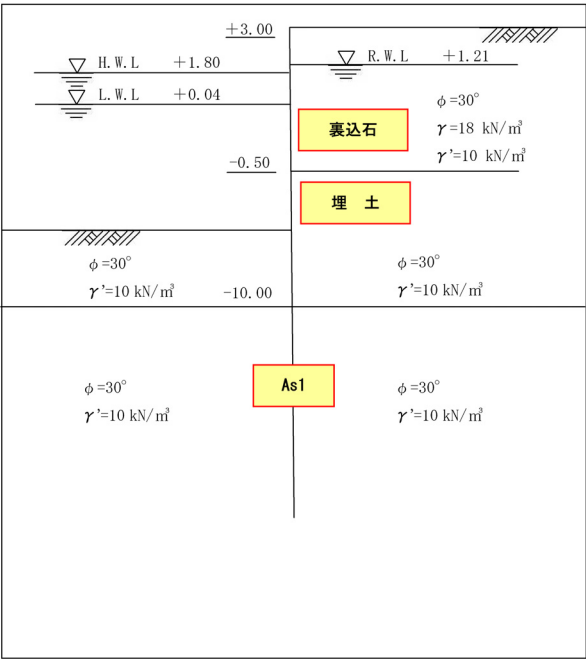


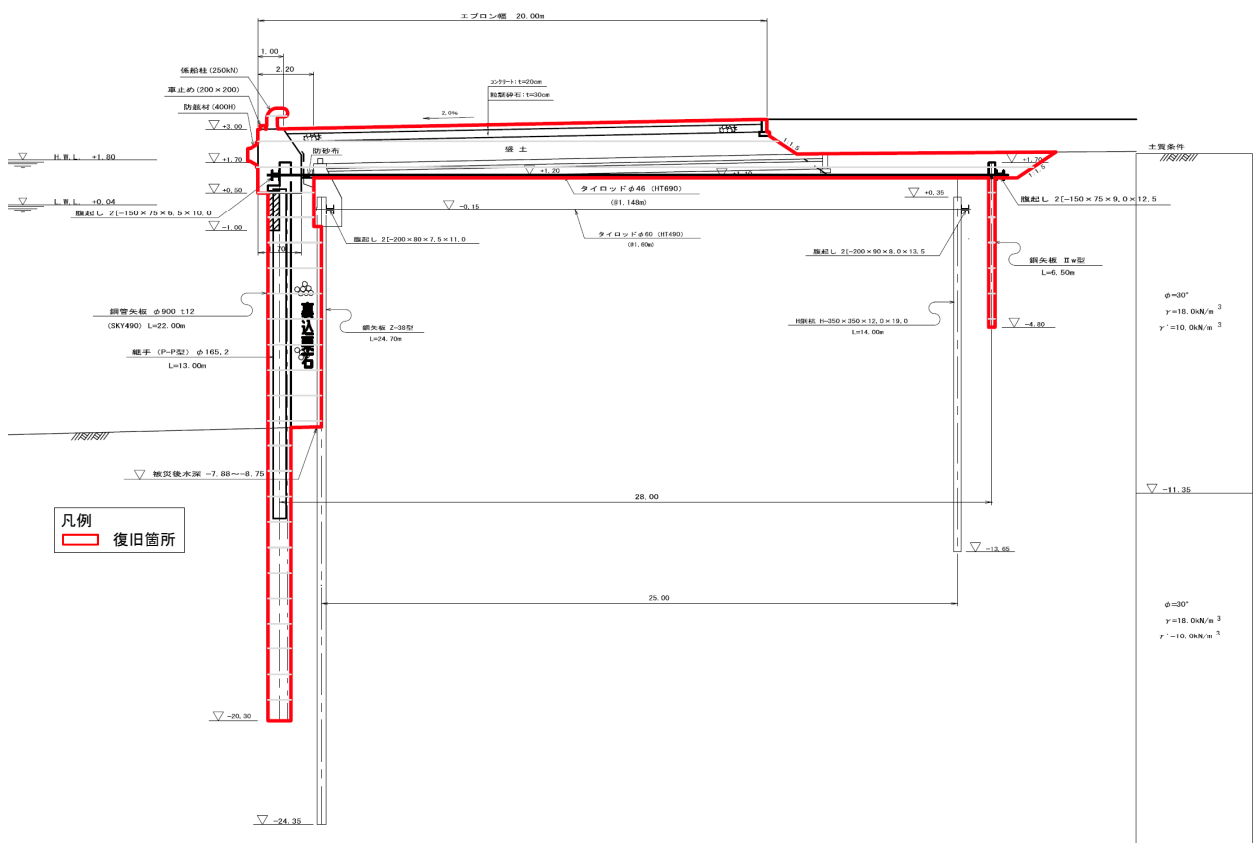
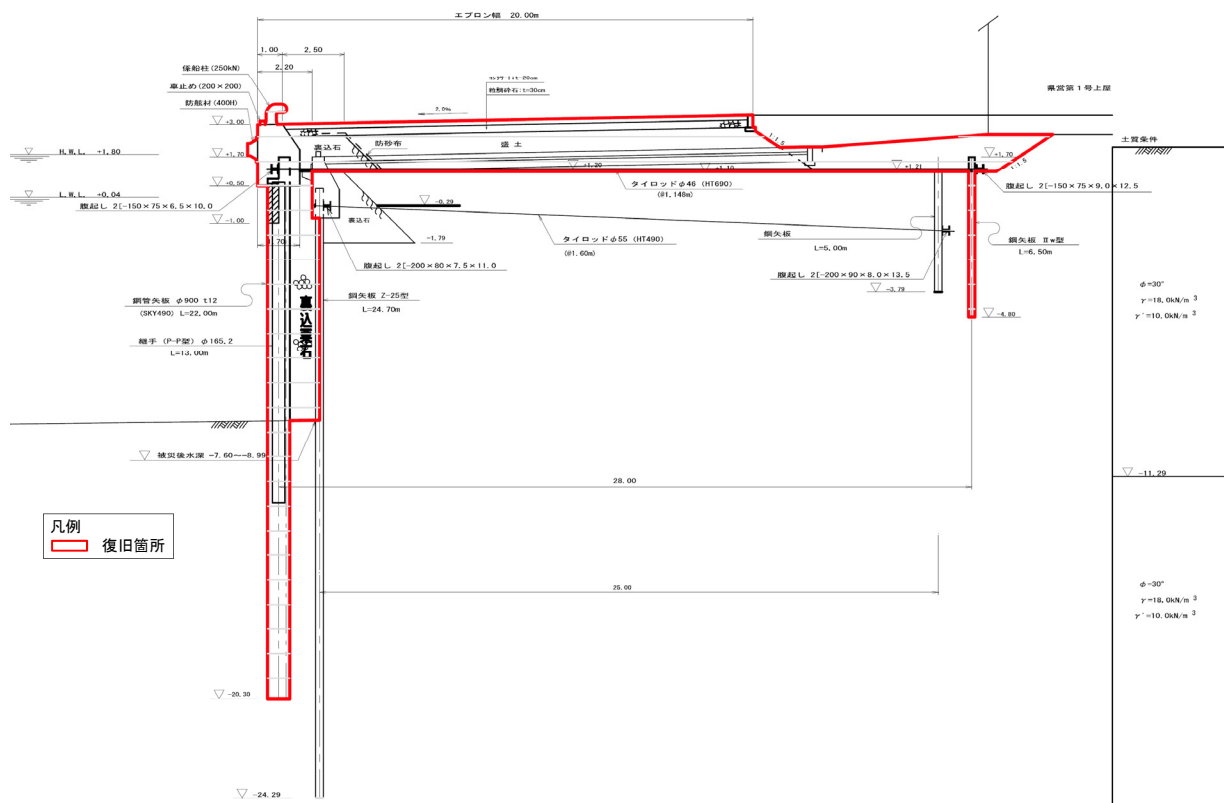
図 3.2.1 地盤モデル図 (A, B, C, F 断面)

(2) D, E 断面



地盤モデル図② (D, E 断面)

図-A.8.17 No.2 朝日地区_-7.5m1,2号岸壁土層断面図



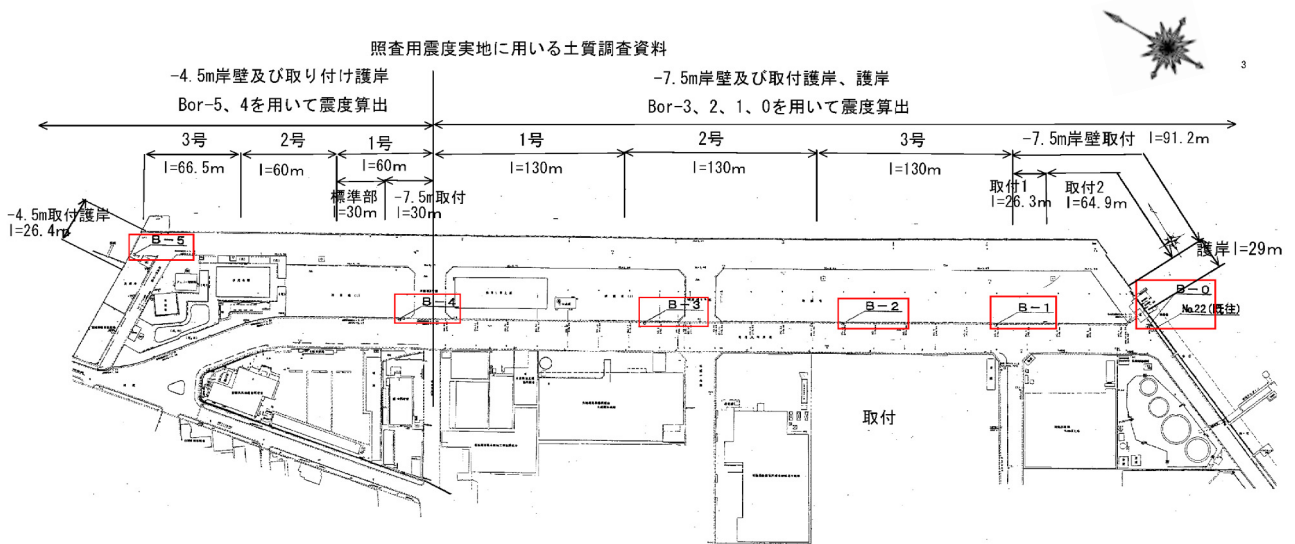


図-A.8.21 No.3 朝日地区-7.5m3号岸壁土質調査位置図

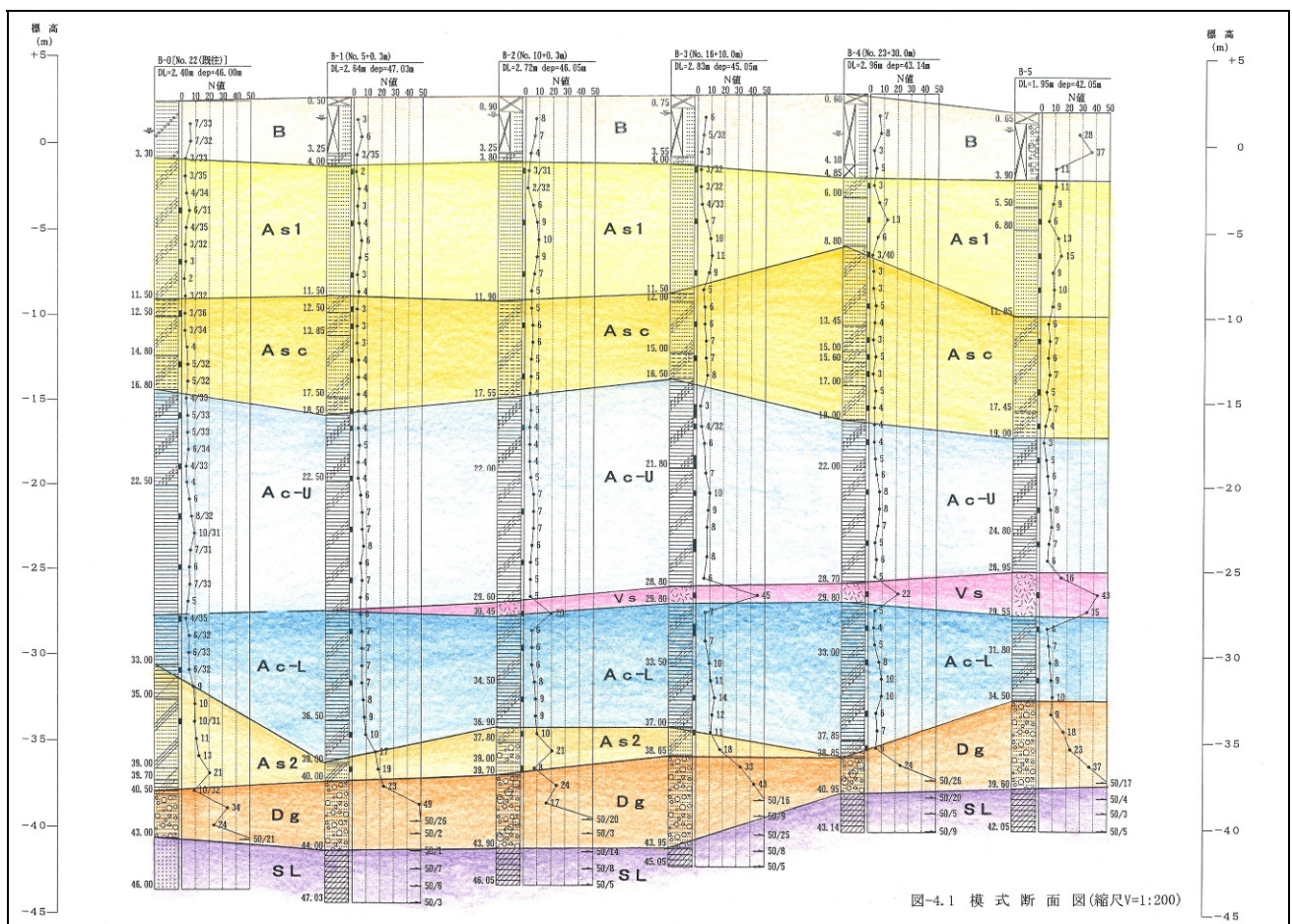
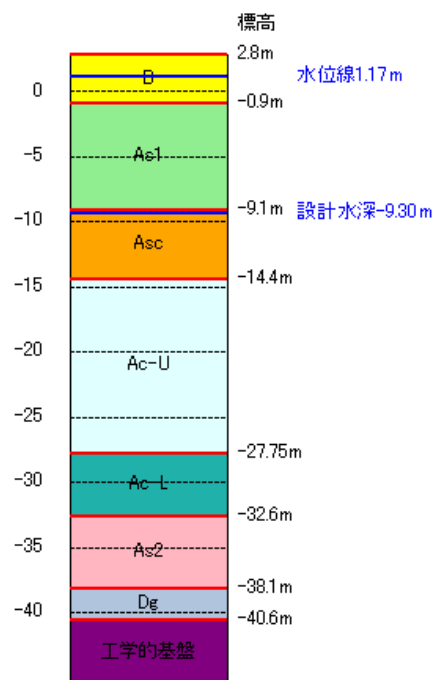
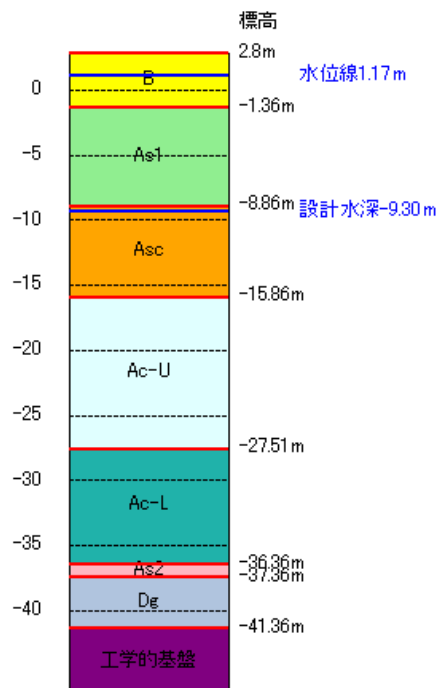


図-4.1 模式断面図(縮尺V=1:200)

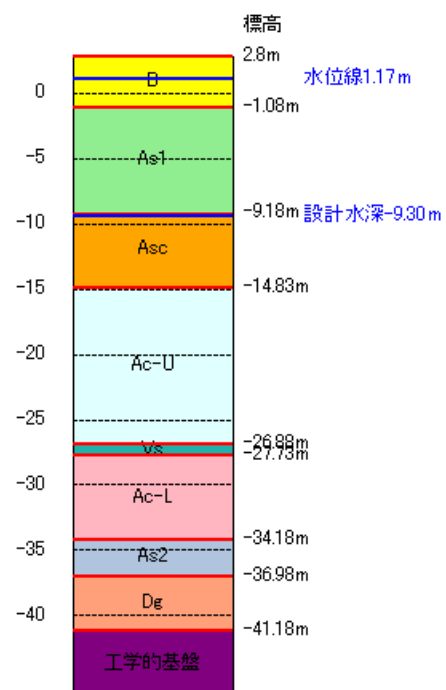
図-A.8.22 No.3 朝日地区-7.5m3号岸壁土質縦断面図



図一A. 8. 23 No. 3 朝日地区_7. 5m3 号岸壁 B-0 土層図



図一A. 8. 24 No. 3 朝日地区_7. 5m3 号岸壁 B-1 土層図



図一A. 8. 25 No. 3 朝日地区_7. 5m3 号岸壁 B-2 土層図

(1) A, B, C, F 断面

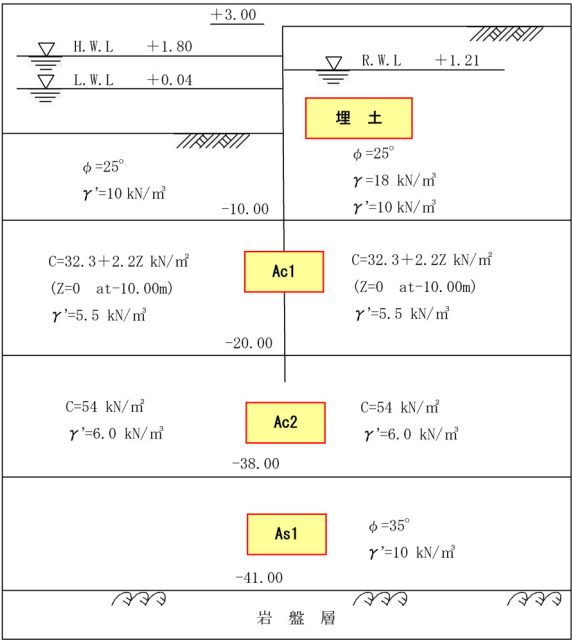
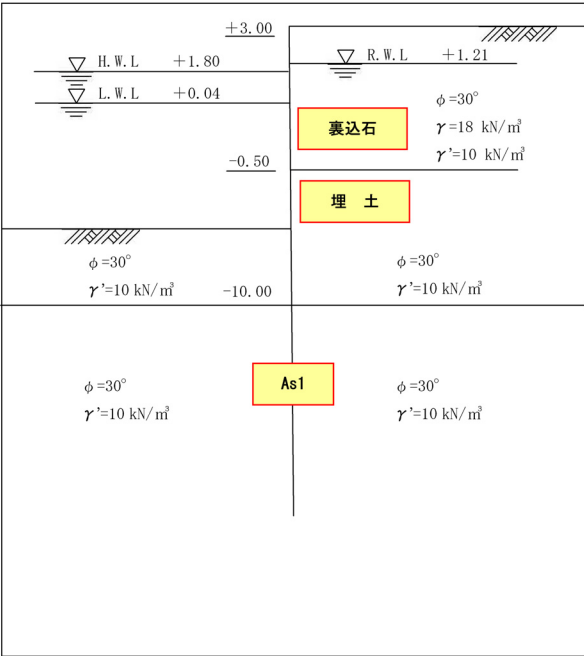


図 3.2.1 地盤モデル図 (A, B, C, F 断面)

(2) D, E 断面



地盤モデル図②(D, E 断面)

図—A. 8. 26 No. 3 朝日地区_7.5m3 号岸壁土層断面図

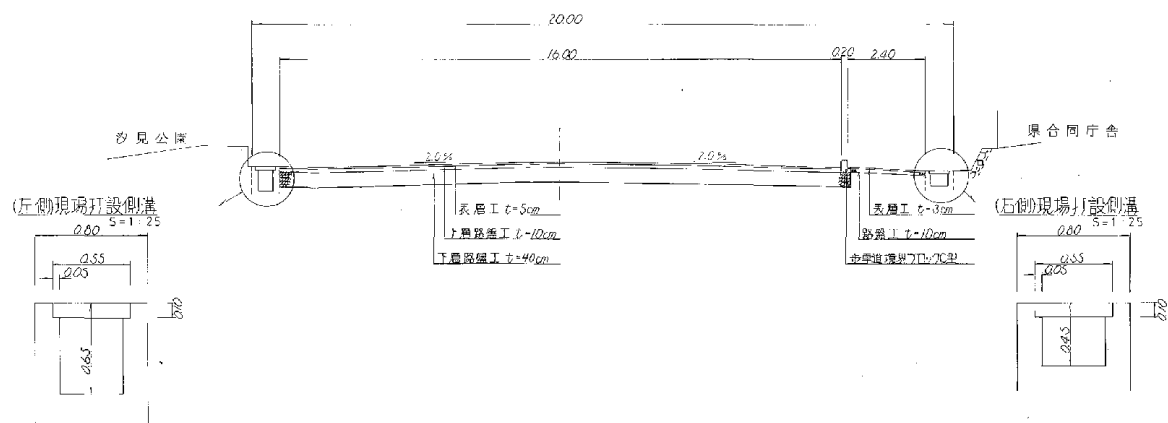


図-A.8.30 No.1 朝日大川路線A断面図 (被災前)

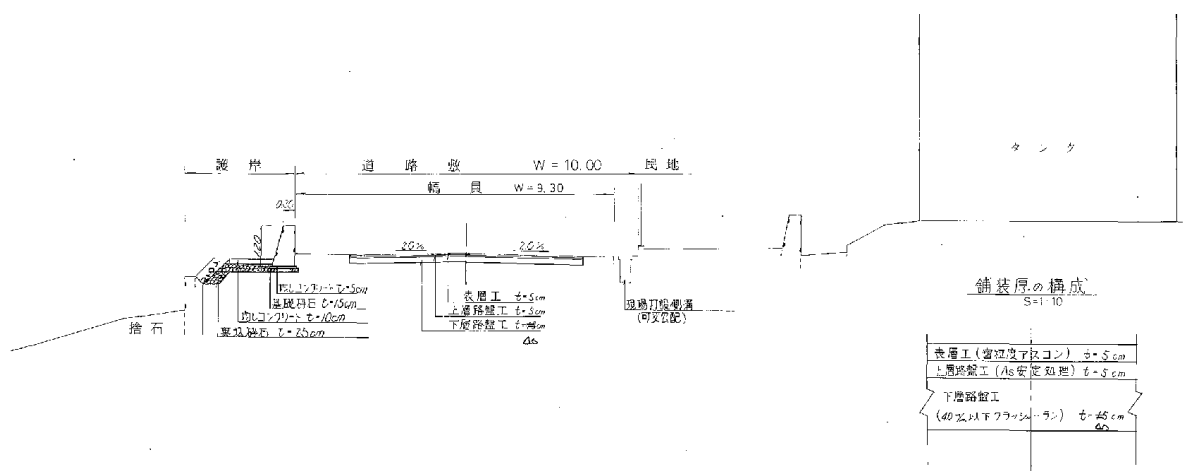


図-A.8.31 No.1 朝日大川路線B断面図 (被災前)

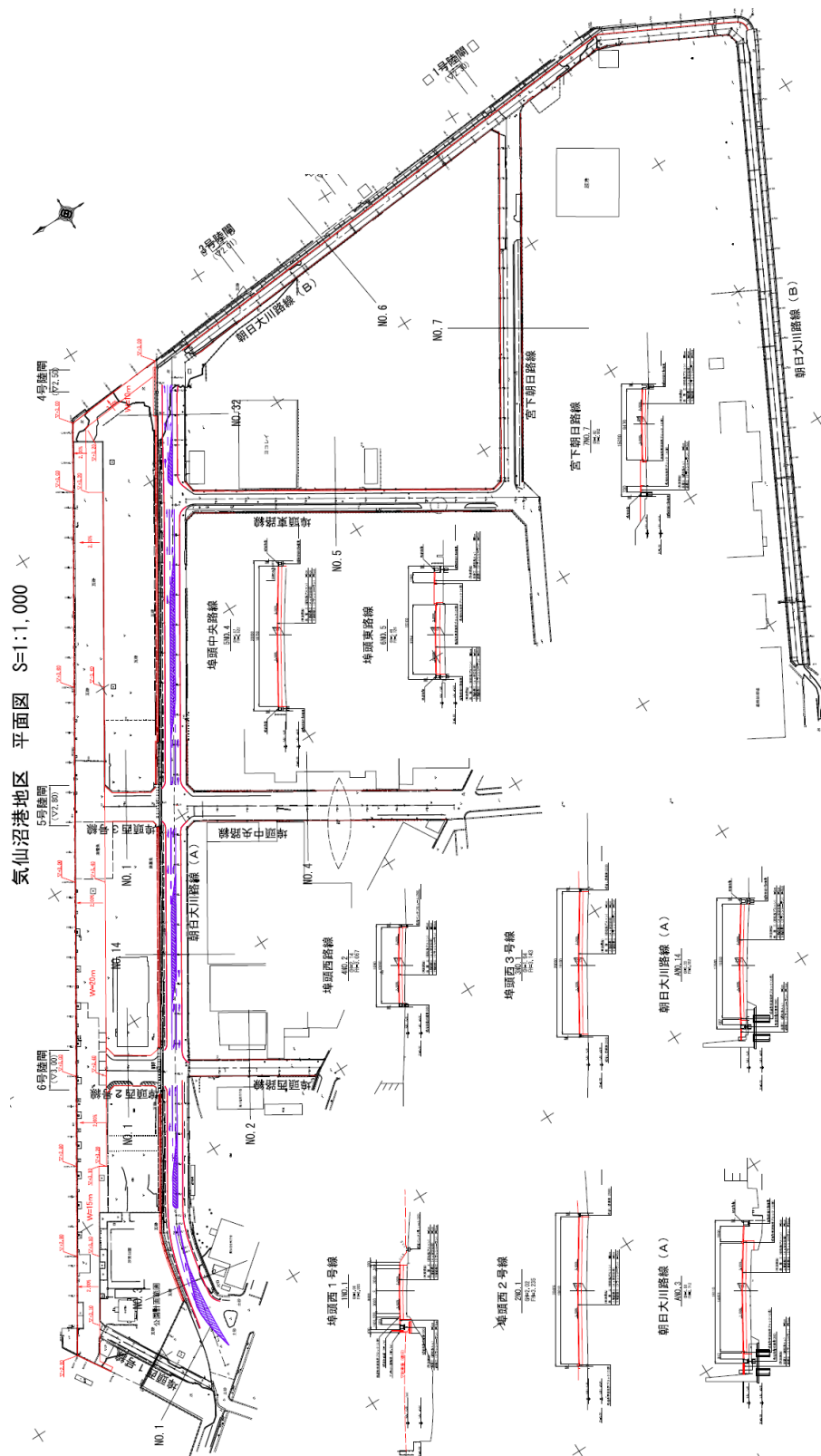
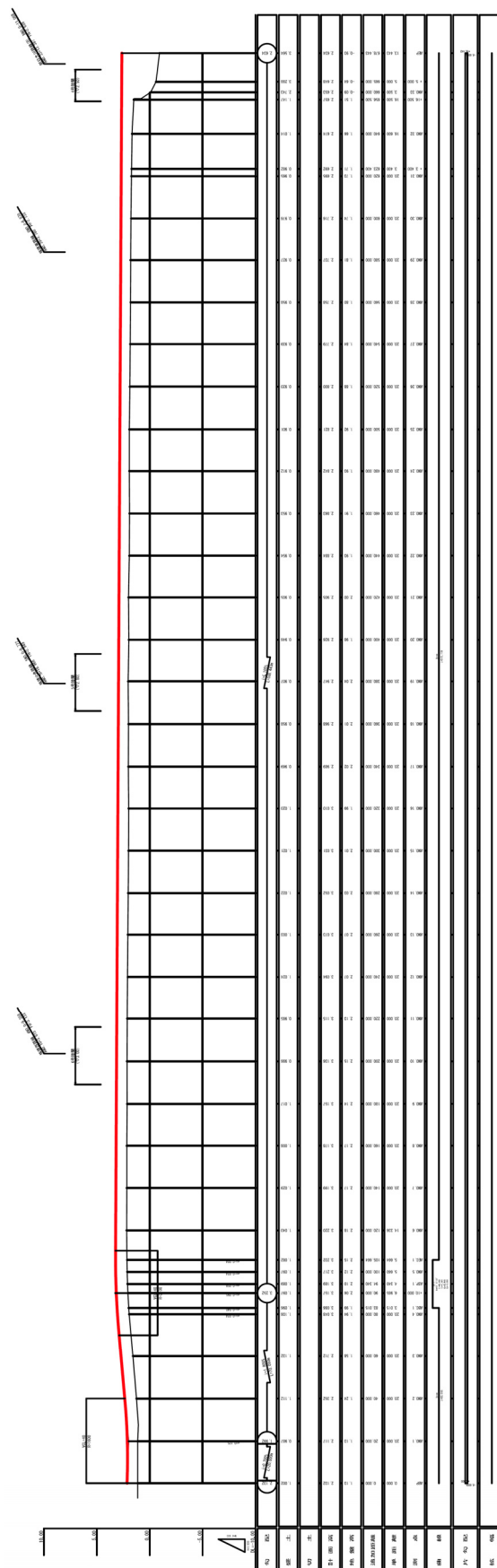


図-A.8.32 No.1 朝日大川路線平面図 (復旧後)



図一A. 8. 33 No. 1 朝日大川路線 (A)縦断面図 (復旧後)

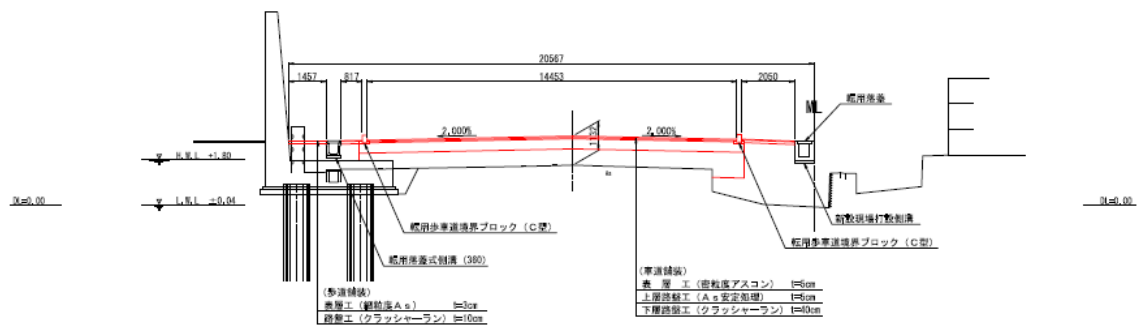


図-A. 8. 35 No. 1 朝日大川路線 (A) 標準横断面図 ANO. 3 (復旧後)

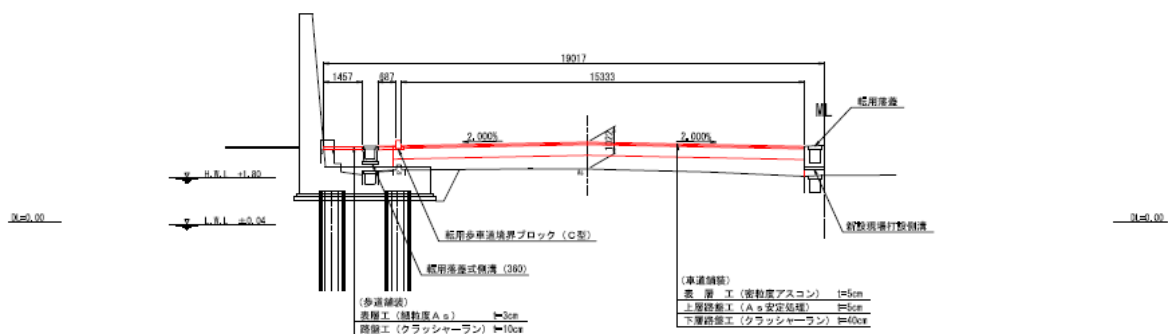


図-A. 8. 36 No. 1 朝日大川路線 (A) 標準横断面図 ANO. 14 (復旧後)

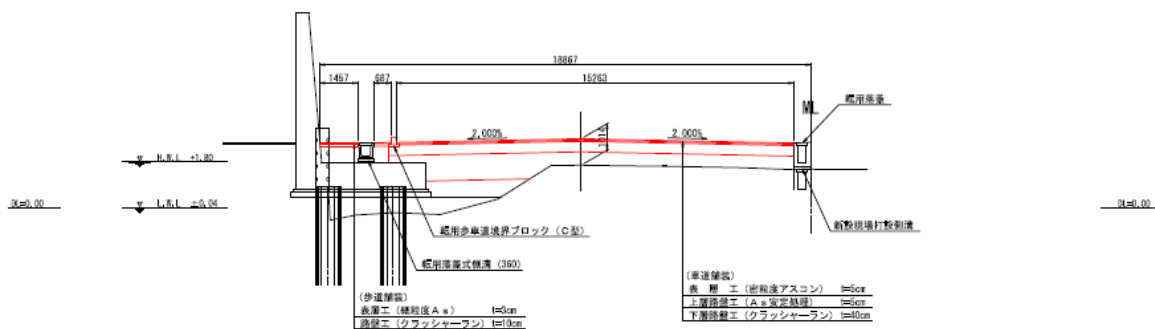


図-A. 8. 37 No. 1 朝日大川路線 (A) 標準横断面図 ANO. 32 (復旧後)

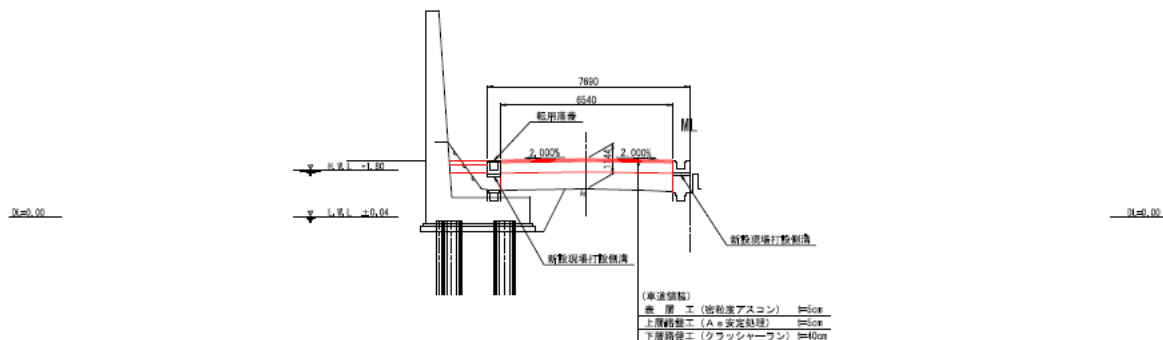


図-A. 8. 38 No. 1 朝日大川路線 (B) 標準横断面図 BNO. 6 (復旧後)

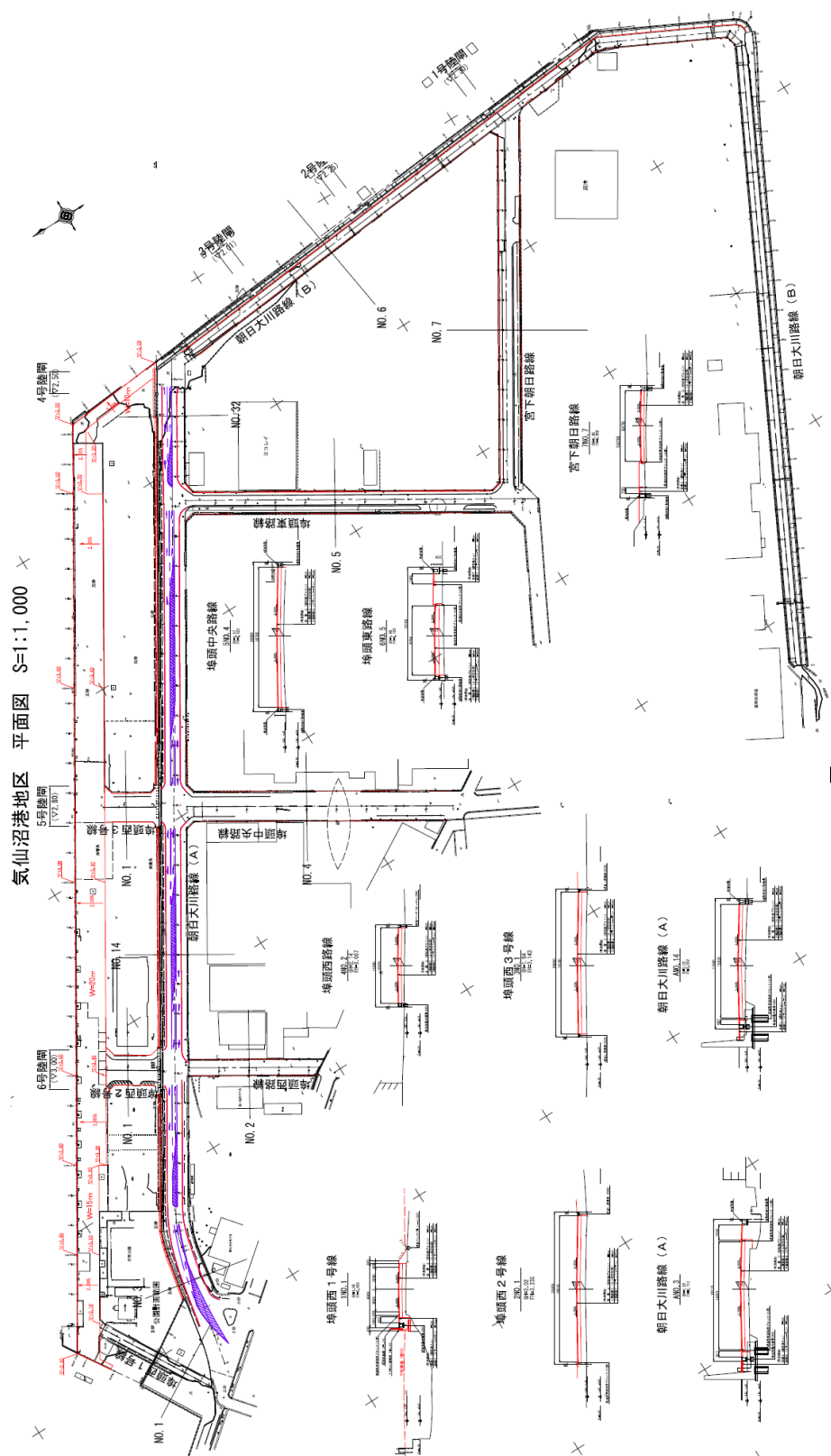


図-A.8.39 No.2 埠頭西 1 号線平面図 (復旧後)

気仙沼港地区 埠頭西 1 号線 縦断面図 V=1:100 H=1:500

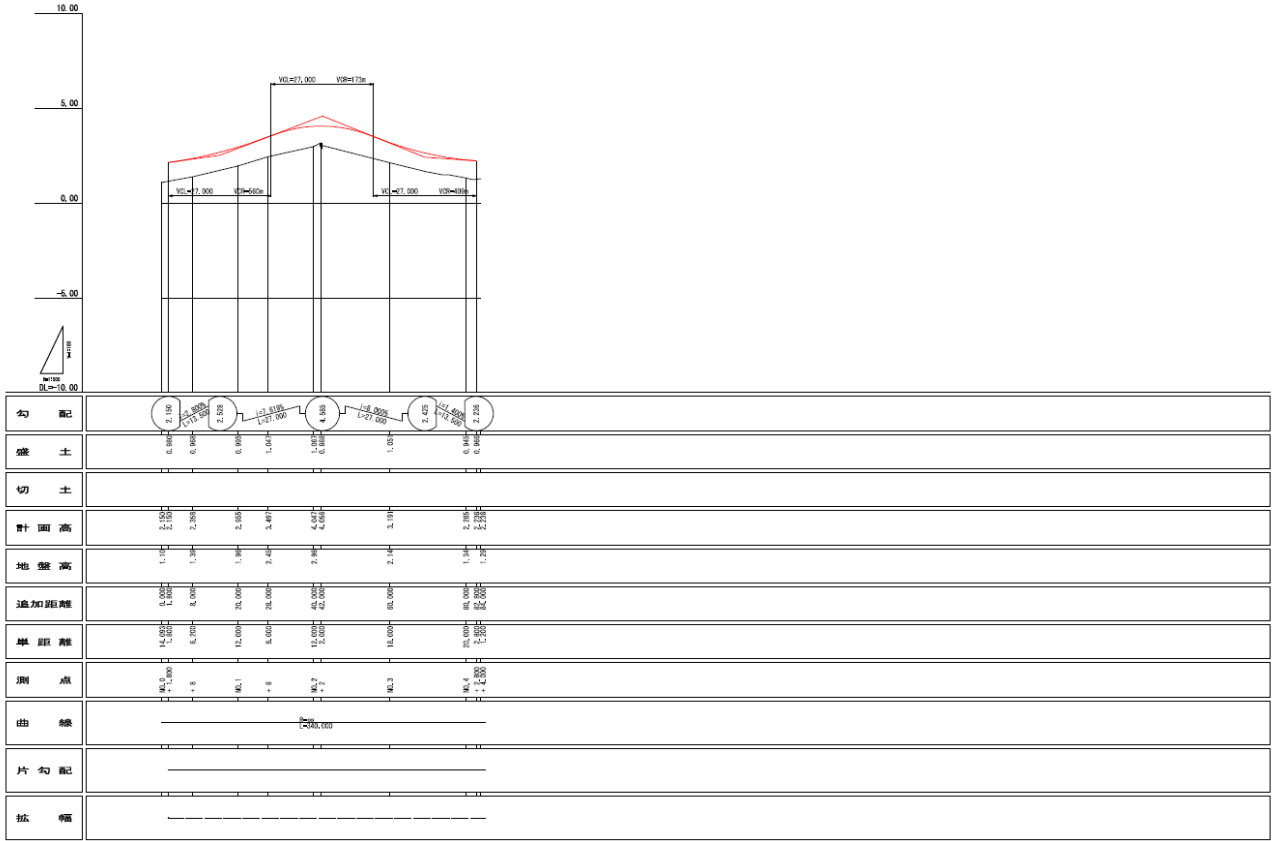


図-A.8.40 No.2 埠頭西 1 号線縦断面図（復旧後）

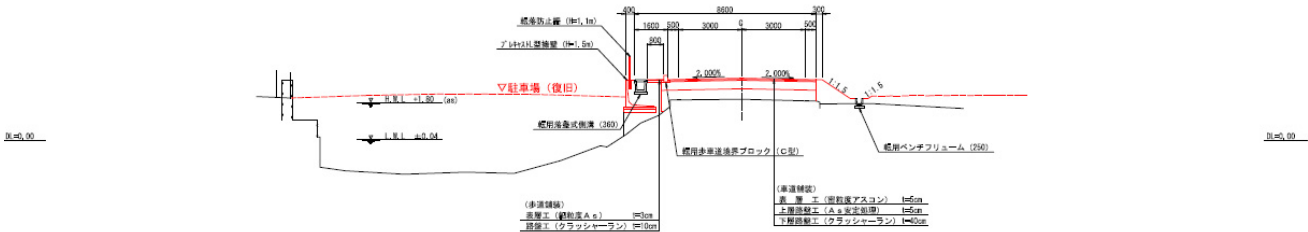


図-A.8.41 No.2 埠頭西 1 号線標準横断面図（復旧後）

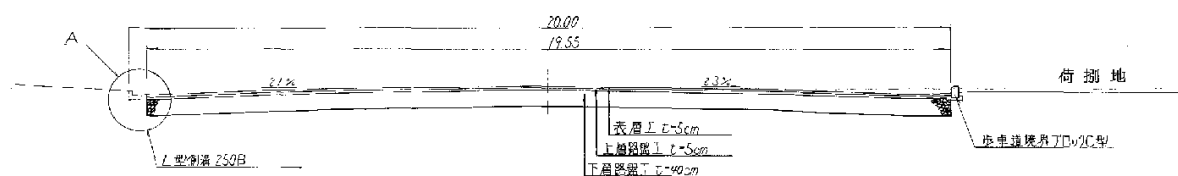
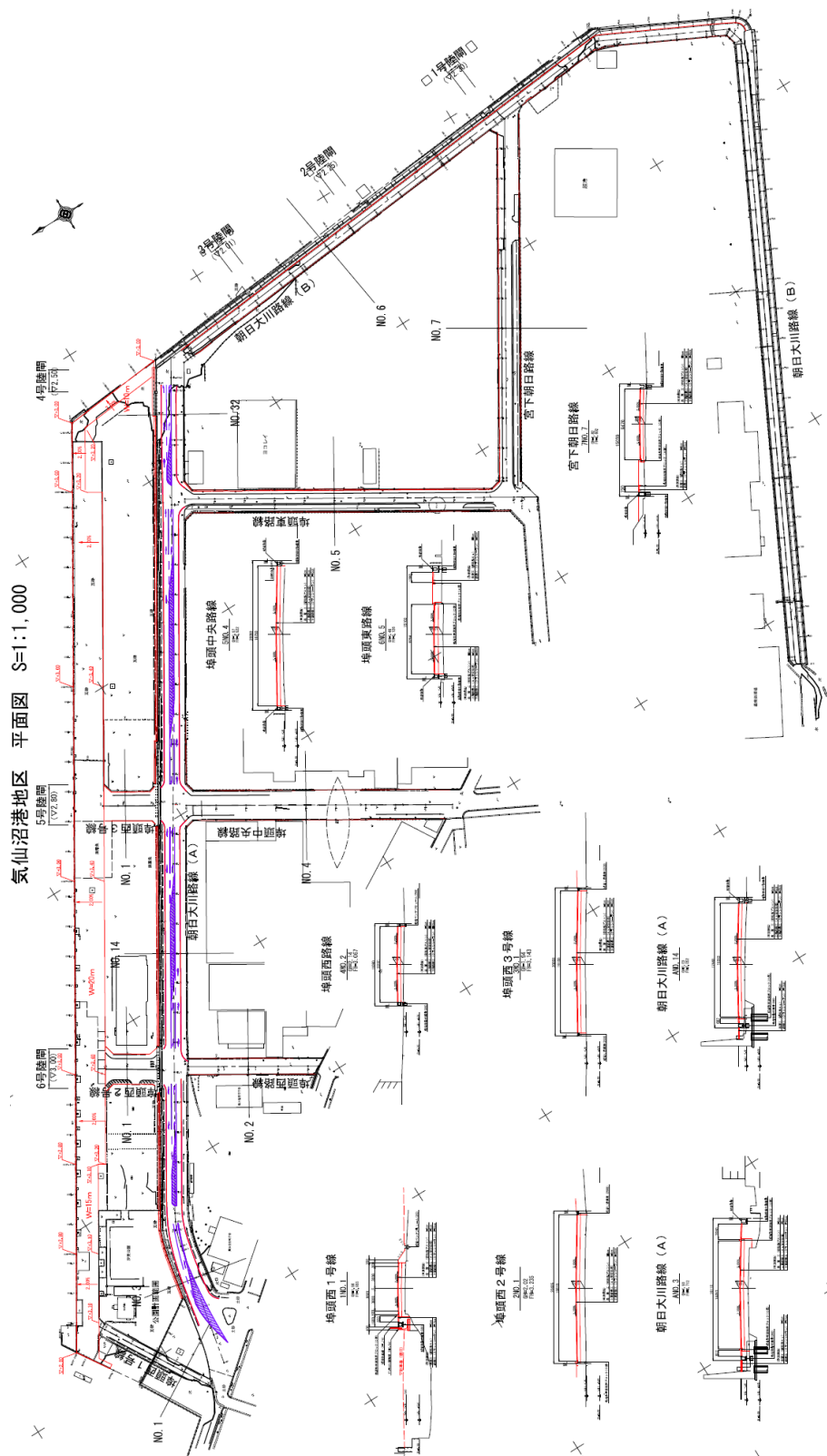


図-A.8.42 No.3 埠頭西2号線断面図(被災前)



図—A. 8. 43 No. 3 埠頭西 2 号線平面图（復旧後）

気仙沼港地区 埠頭西 2 号線 縦断面図 V=1:100 H=1:500

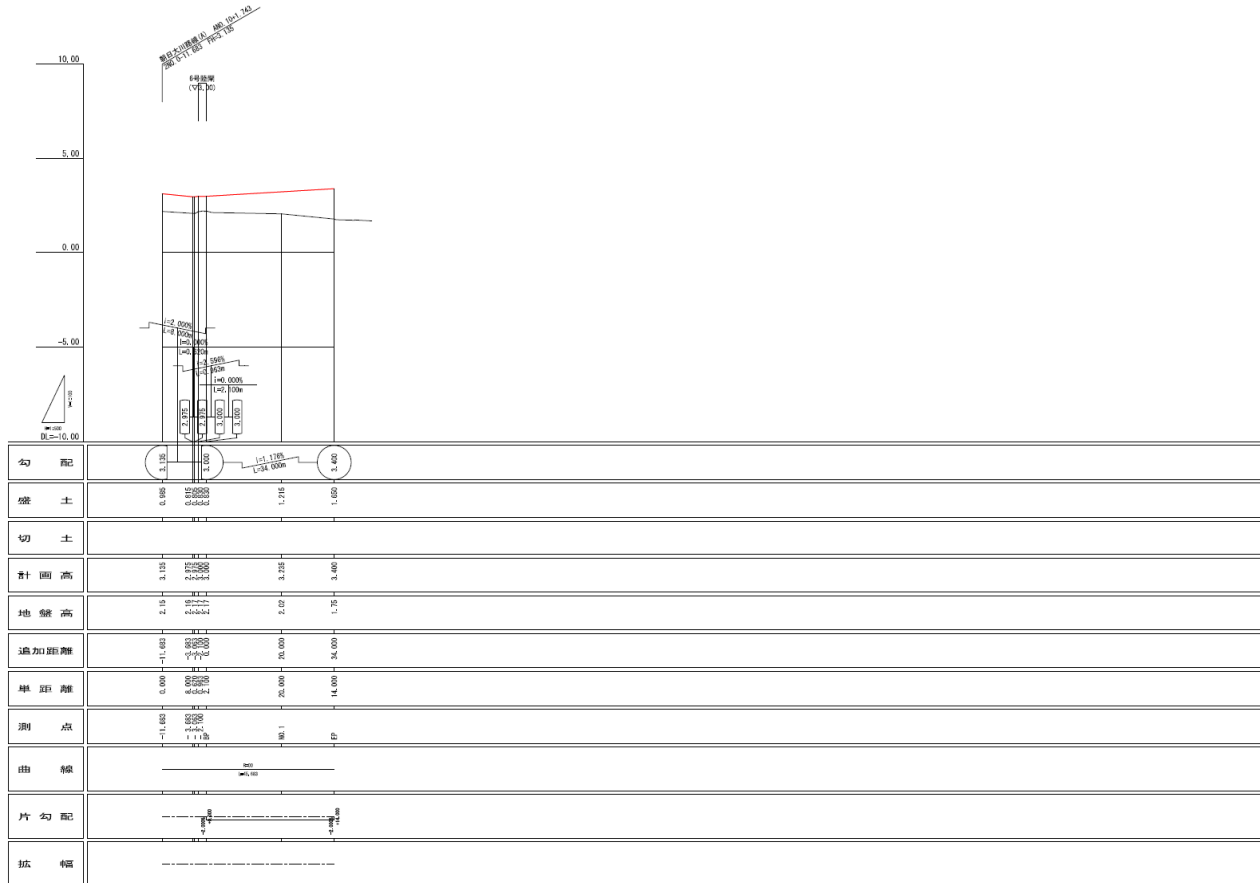


図-A.8.44 No.3 埠頭西 2 号線縦断面図（復旧後）

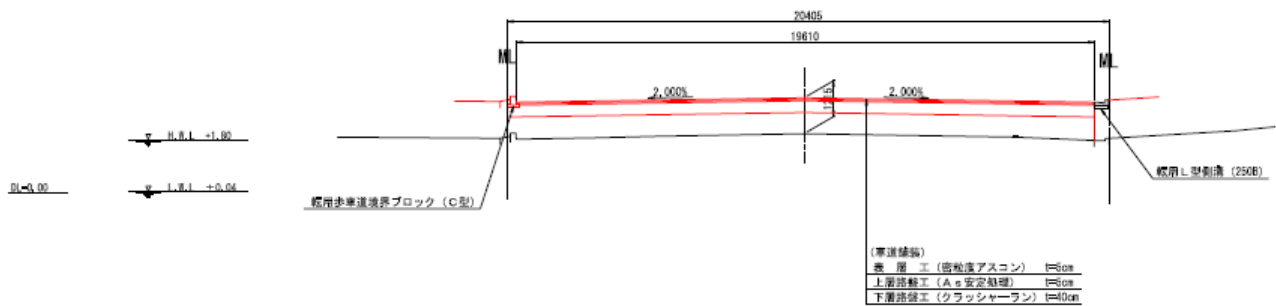


図-A.8.45 No.3 埠頭西 2 号線標準横断面図（復旧後）

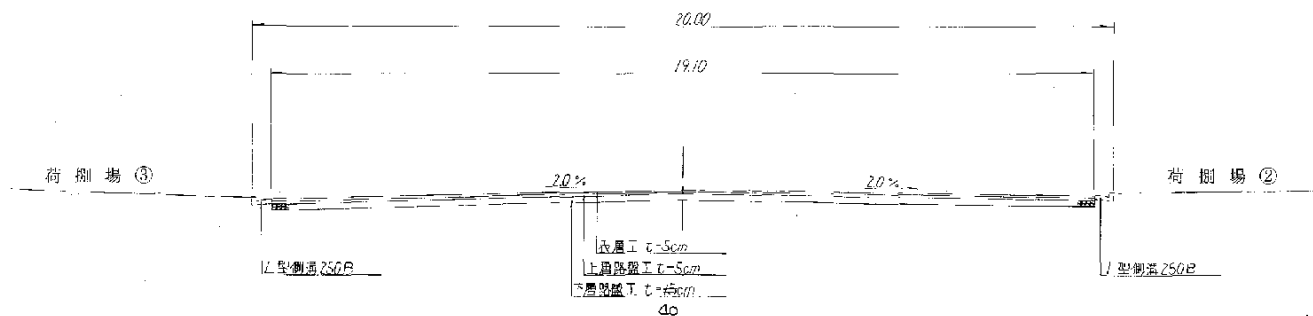


図-A. 8. 46 No. 4 埠頭西 3 号線断面図 (被災前)

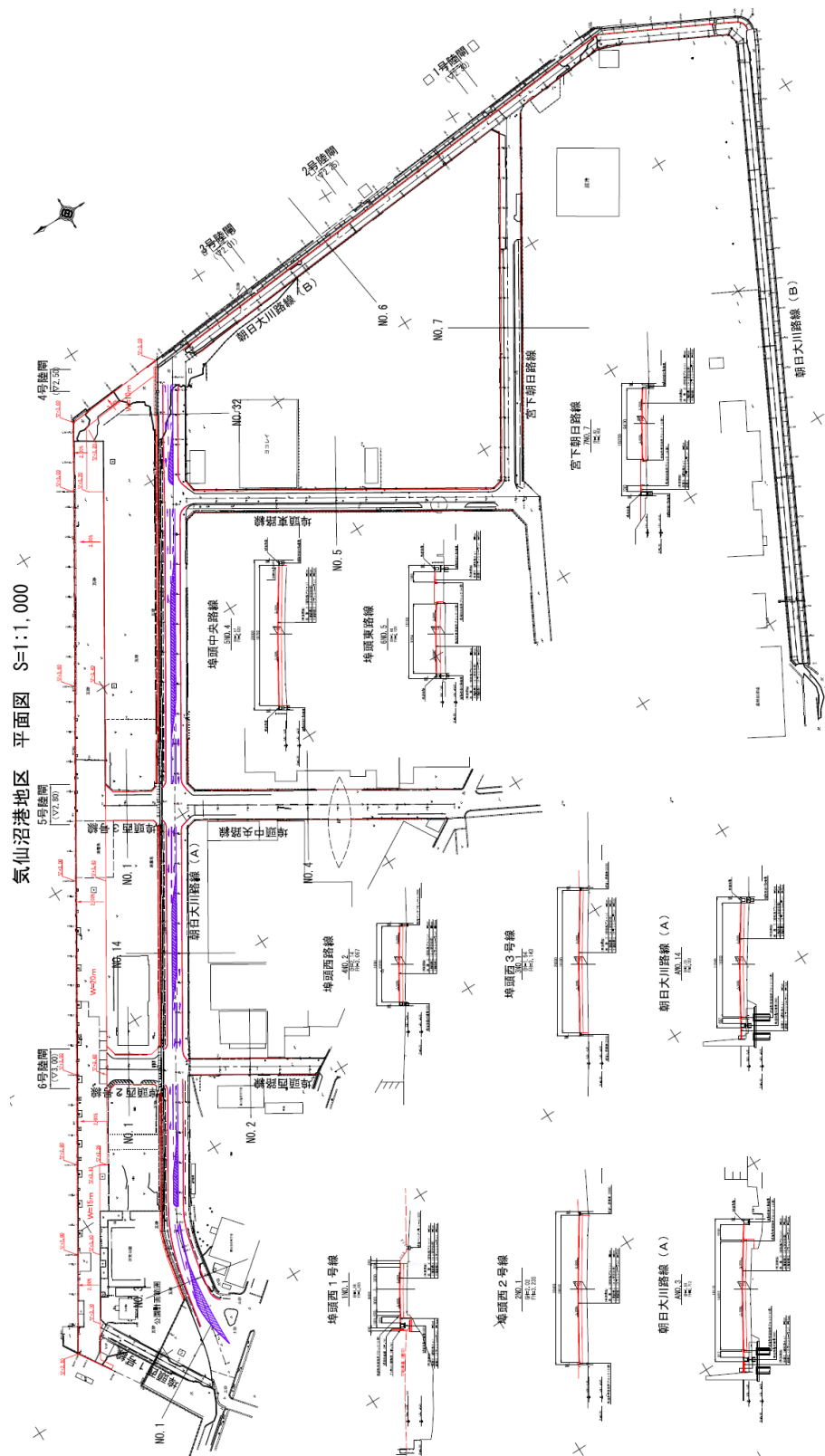


図-A.8.47 No.4 埠頭西3号線平面図(復旧後)

気仙沼港地区 埠頭西 3 号線 縦断面図 V=1:100 H=1:500

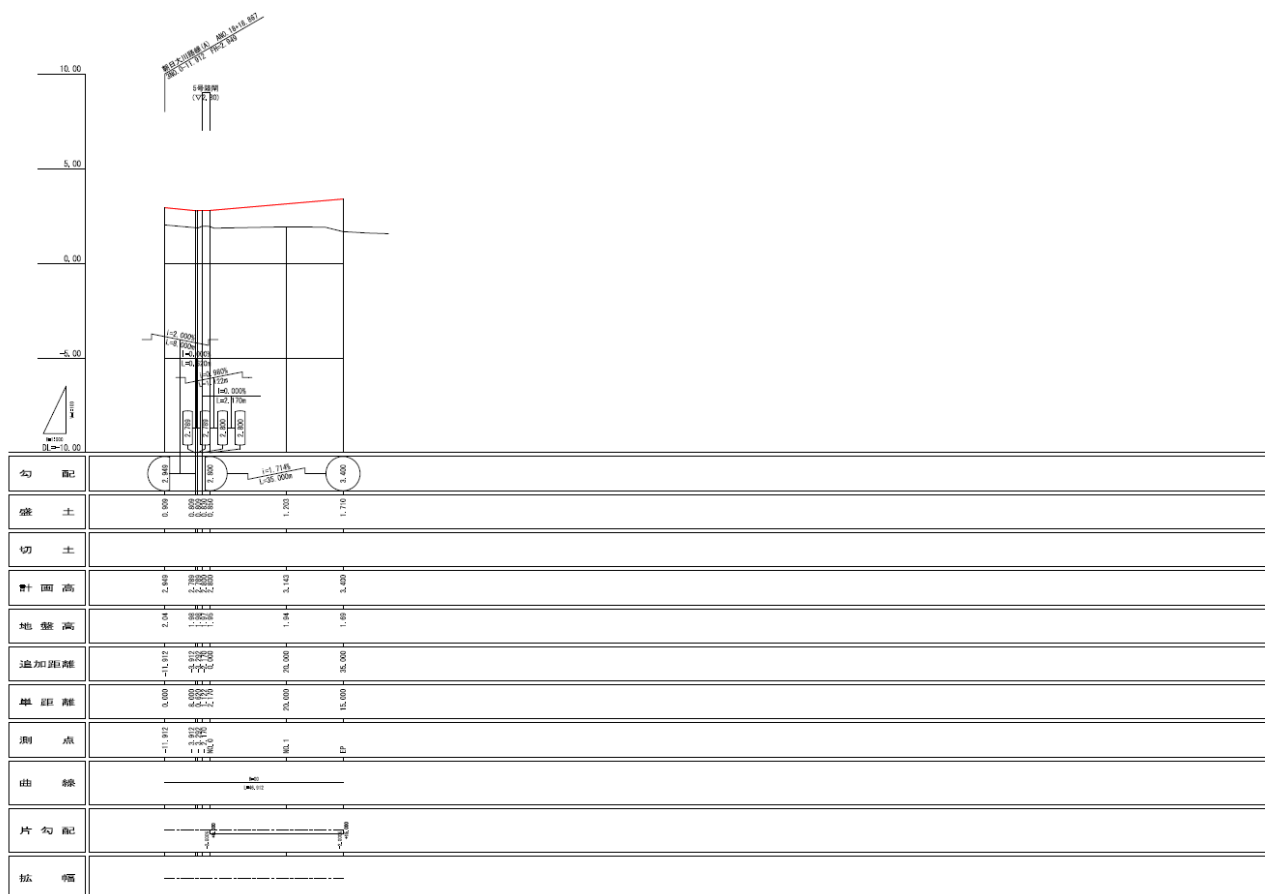


図-A.8.48 No.4 埠頭西 3 号線縦断面図（復旧後）

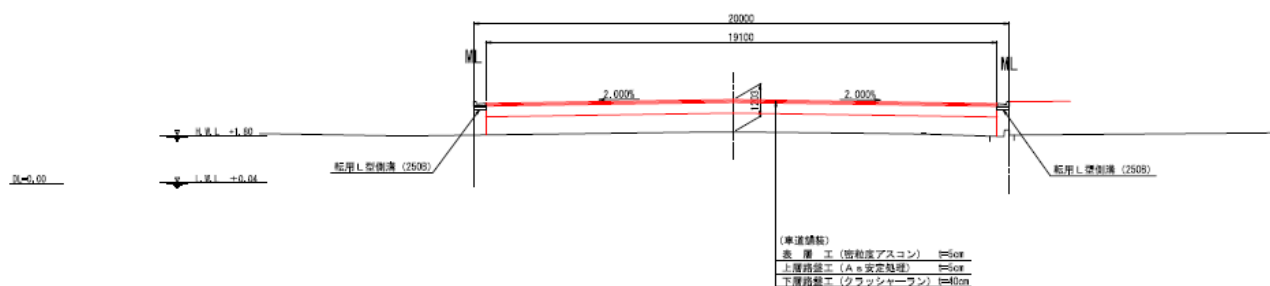


図-A.8.49 No.4 埠頭西 3 号線標準横断面図（復旧後）

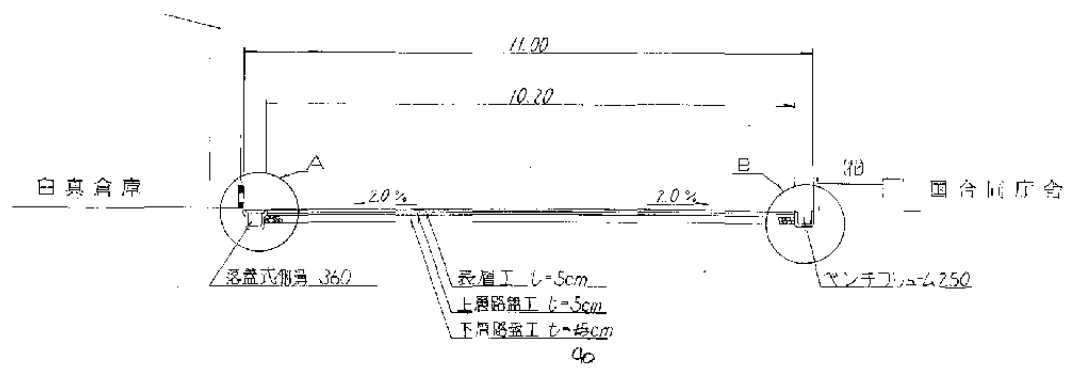


図-A. 8. 50 No. 5 埠頭西路線断面図 (被災前)

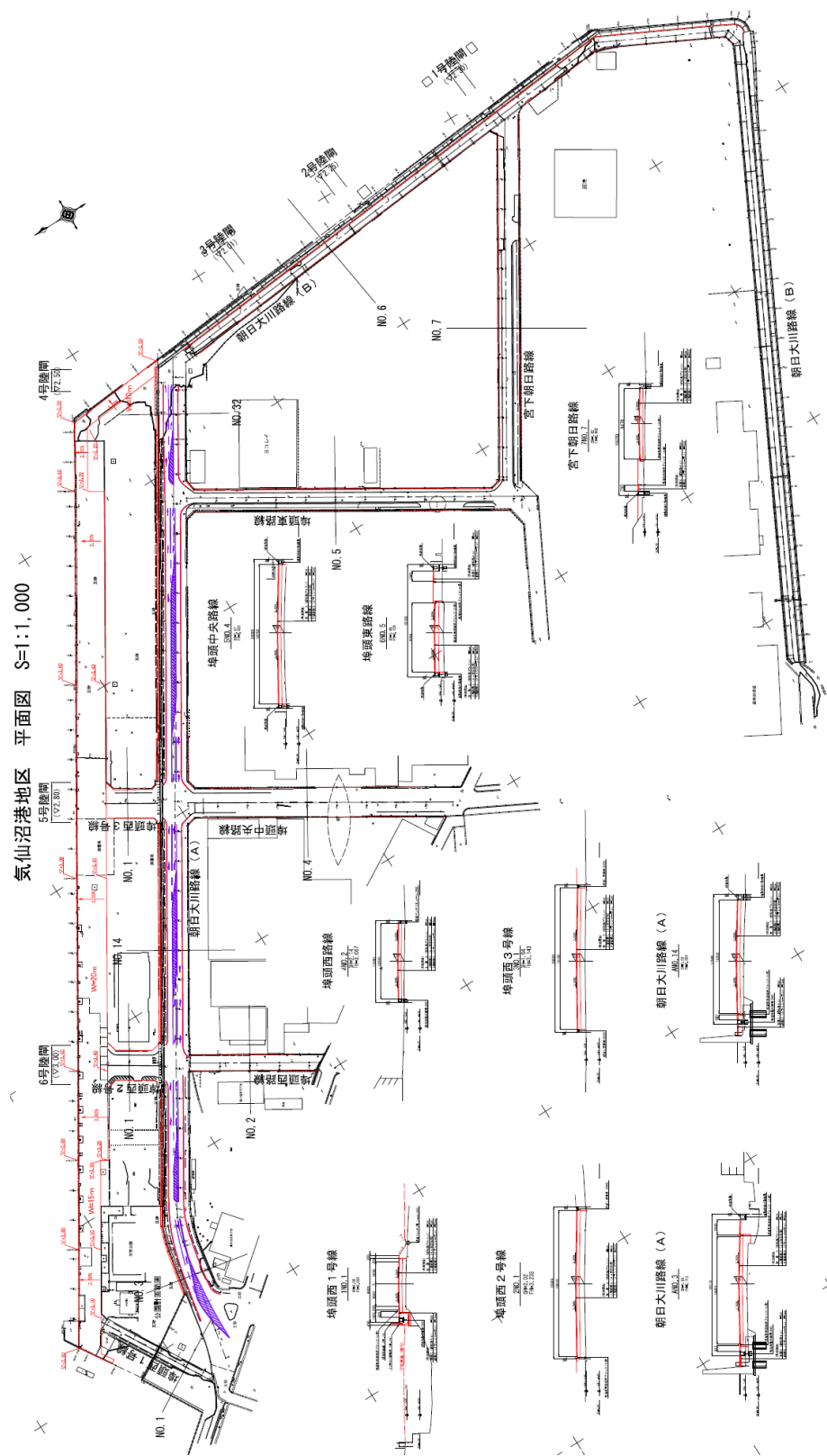
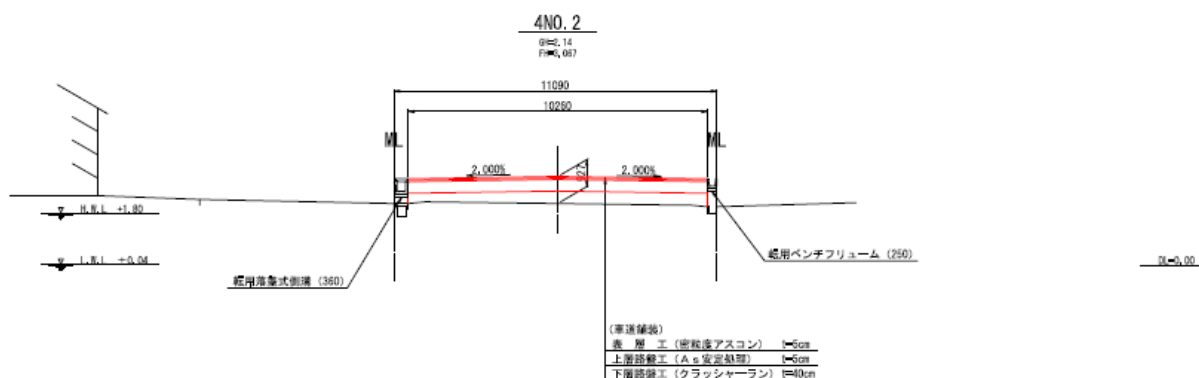


図-A.8.51 No.5 埠頭西路線平面図（復旧後）

圖-A.8.52 No.5 埠頭西路線縱斷圖(復旧後)



(気仙沼港)
- 1780 -

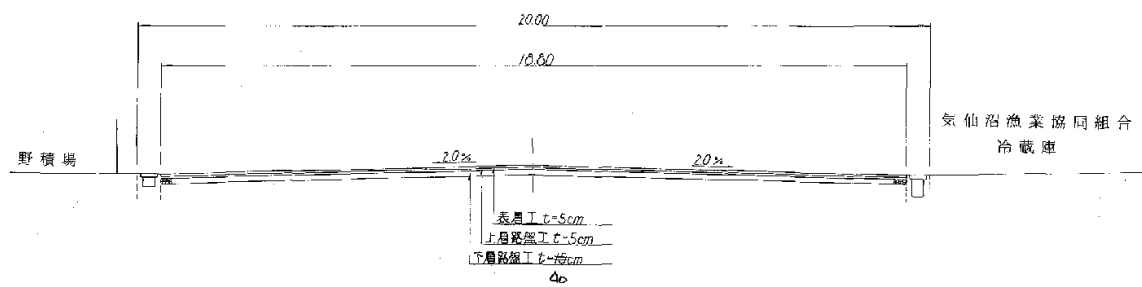


図-A. 8. 54 No. 6 埠頭中央路線断面図（被災前）

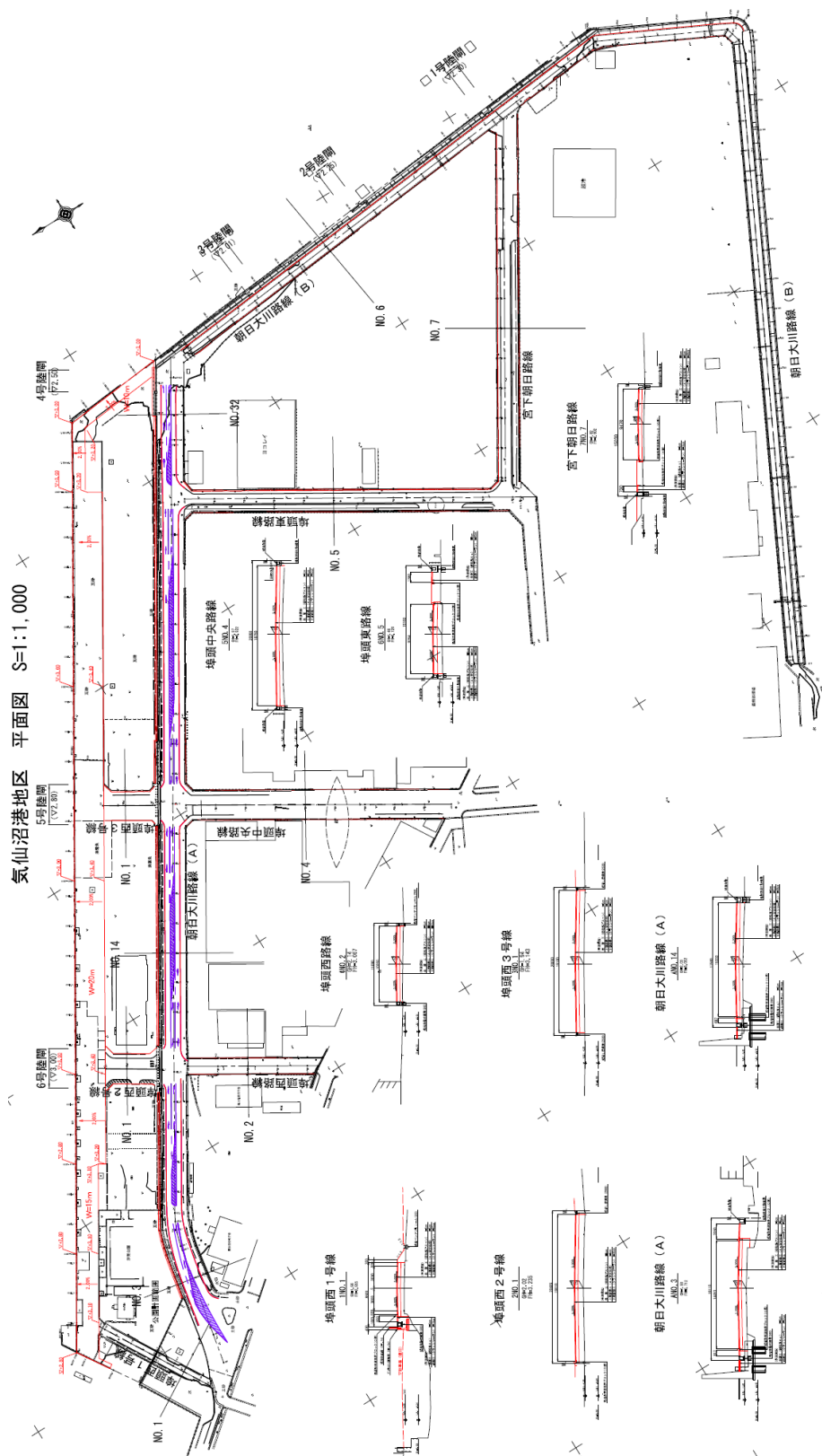


図-A.8.55 No.6 埠頭中央路線平面図 (復旧後)

気仙沼港地区 埠頭中央路線 縦断面 V=1:100 H=1:500

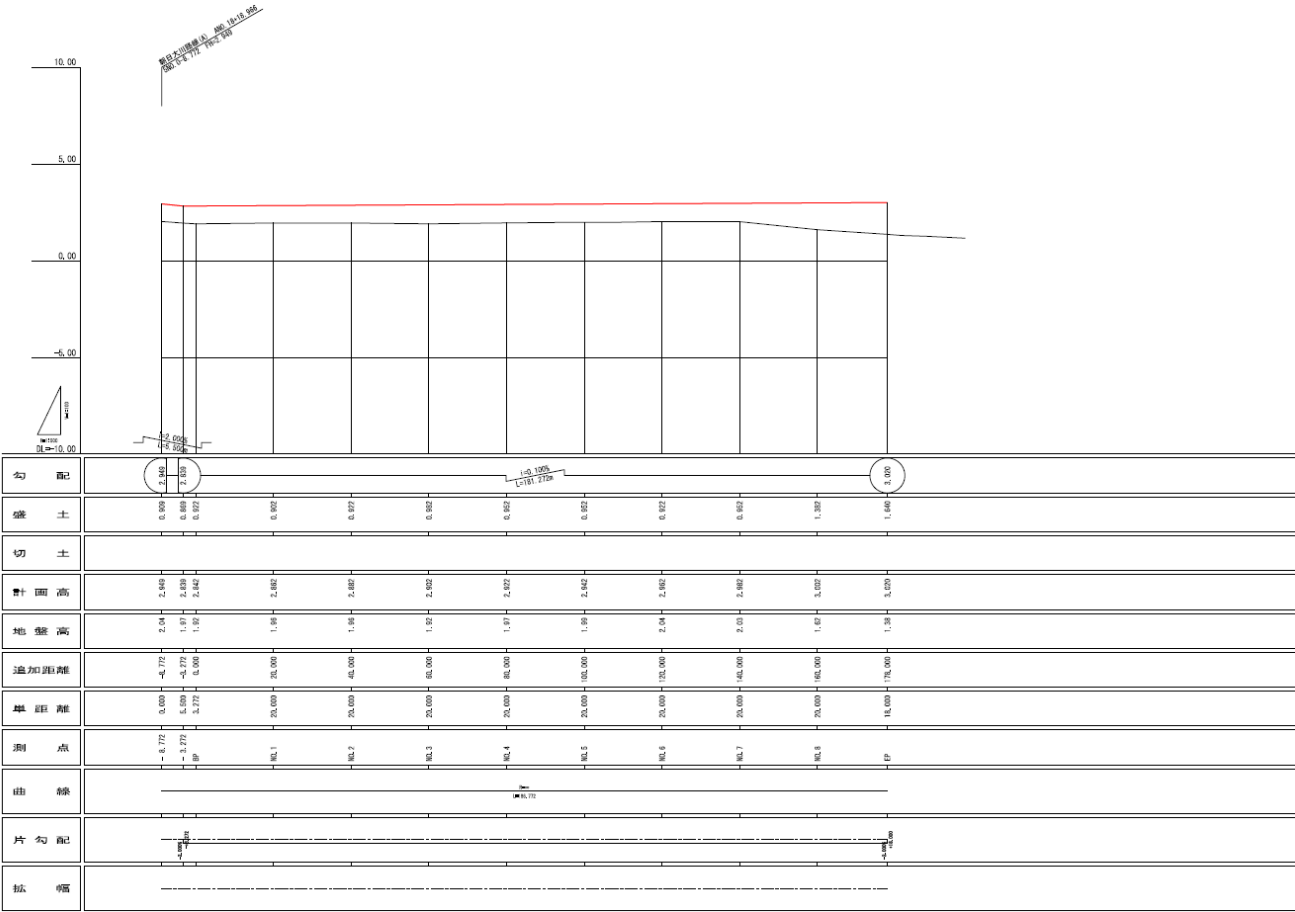


図-A. 8. 56 No. 6 埠頭中央路線縦断面 (復旧後)

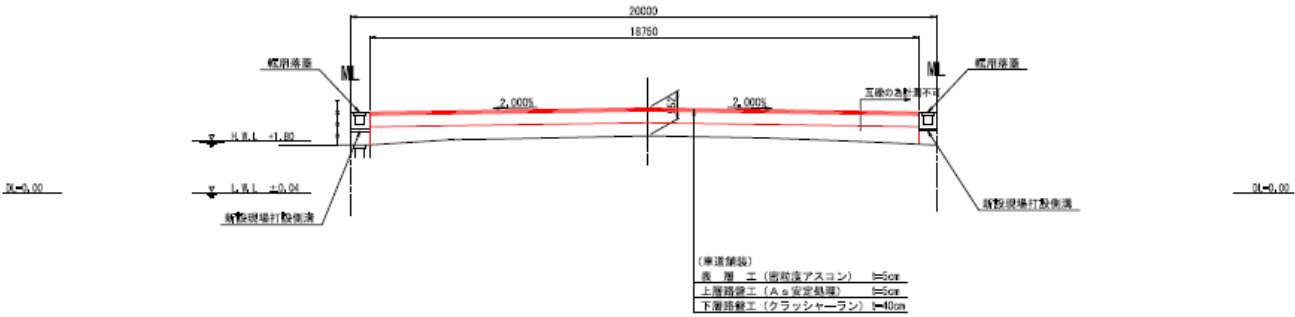


図-A. 8. 57 No. 6 埠頭中央路線標準横断面 (復旧後)

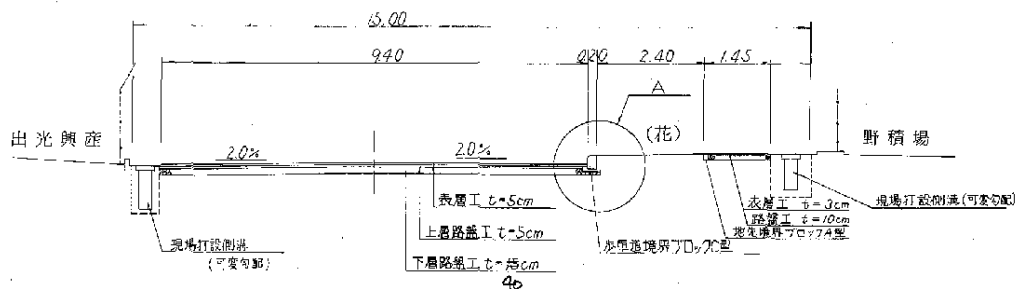


図-A. 8. 58 No. 7 埠頭東路線断面図 (被災前)

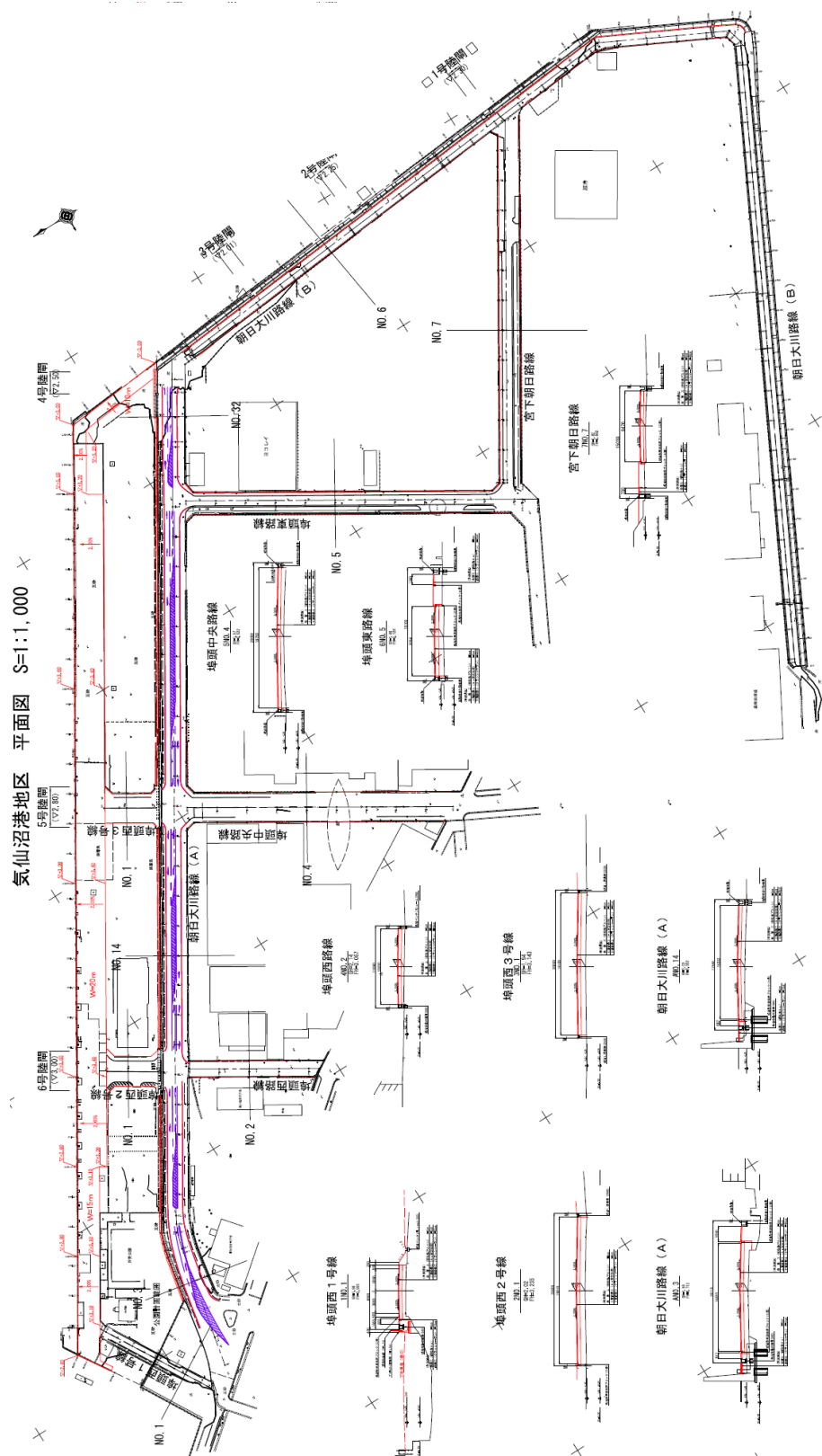


図-A. 8. 59 No. 7 埠頭東路線平面図（復旧後）

気仙沼港地区 埠頭東路線 縦断面 Ⅴ=1:100 H=1:500

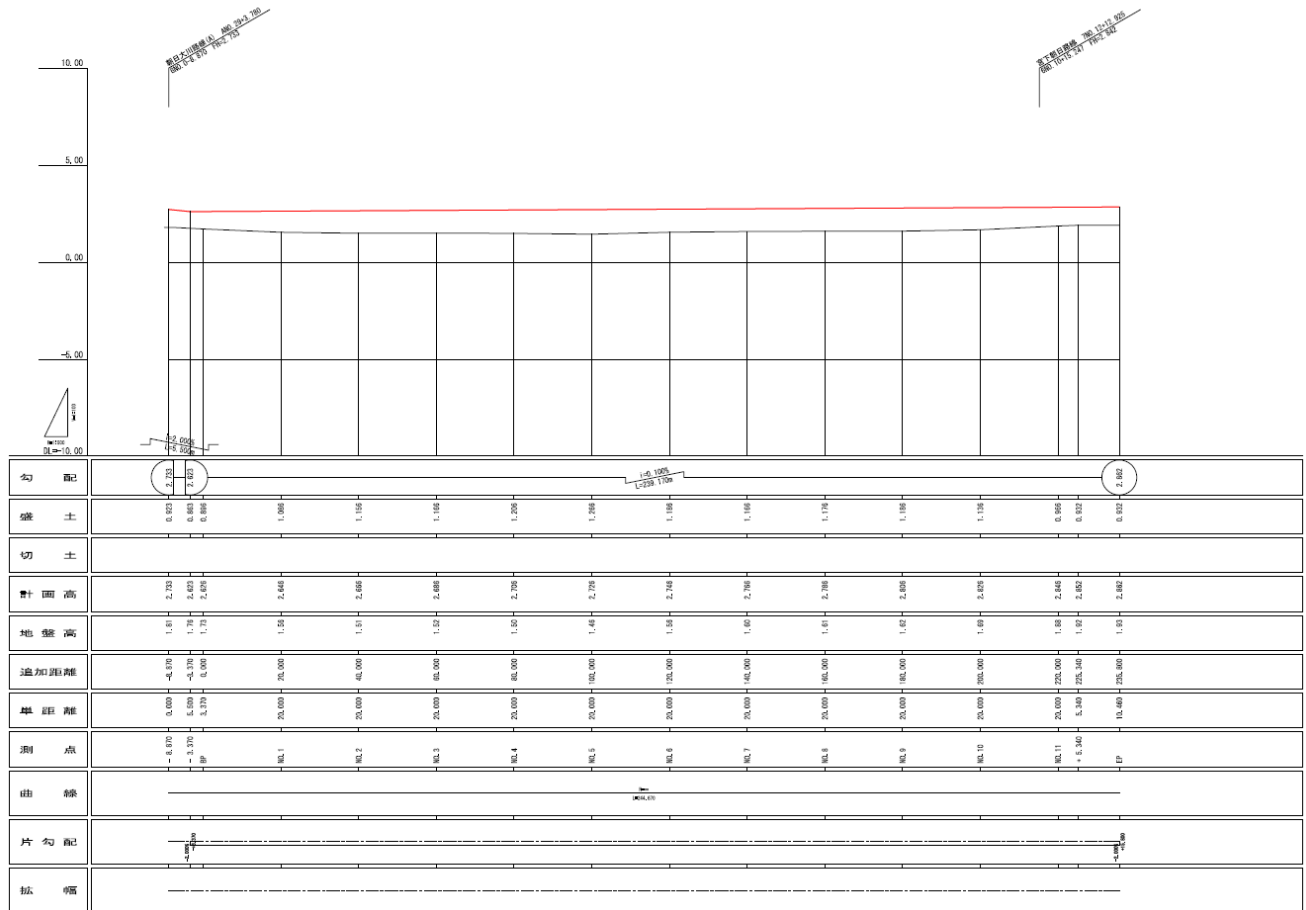


図-A.8.60 No.7 埠頭東路線縦断面図（復旧後）

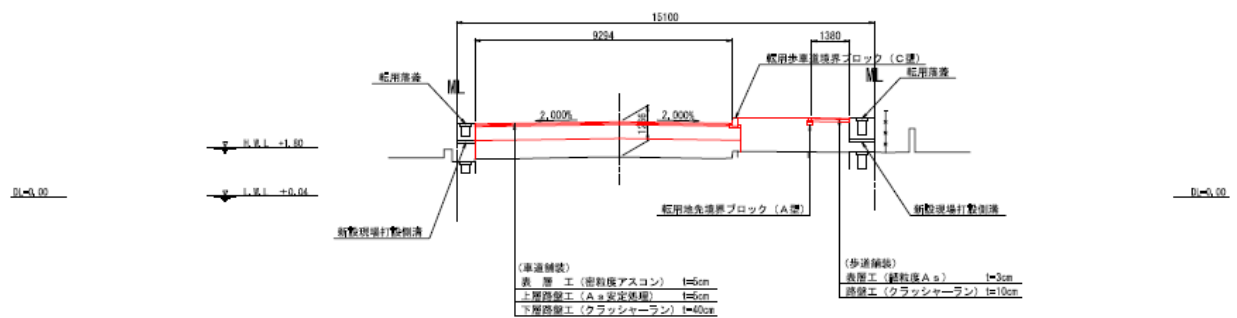


図-A.8.61 No.7 埠頭東路線標準横断面図（復旧後）

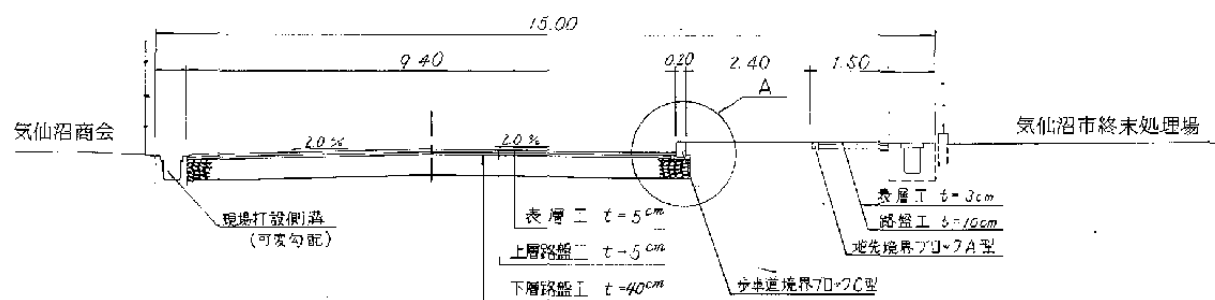


図-A. 8. 62 NNo. 8 宮下朝日路線断面図 (被災前)

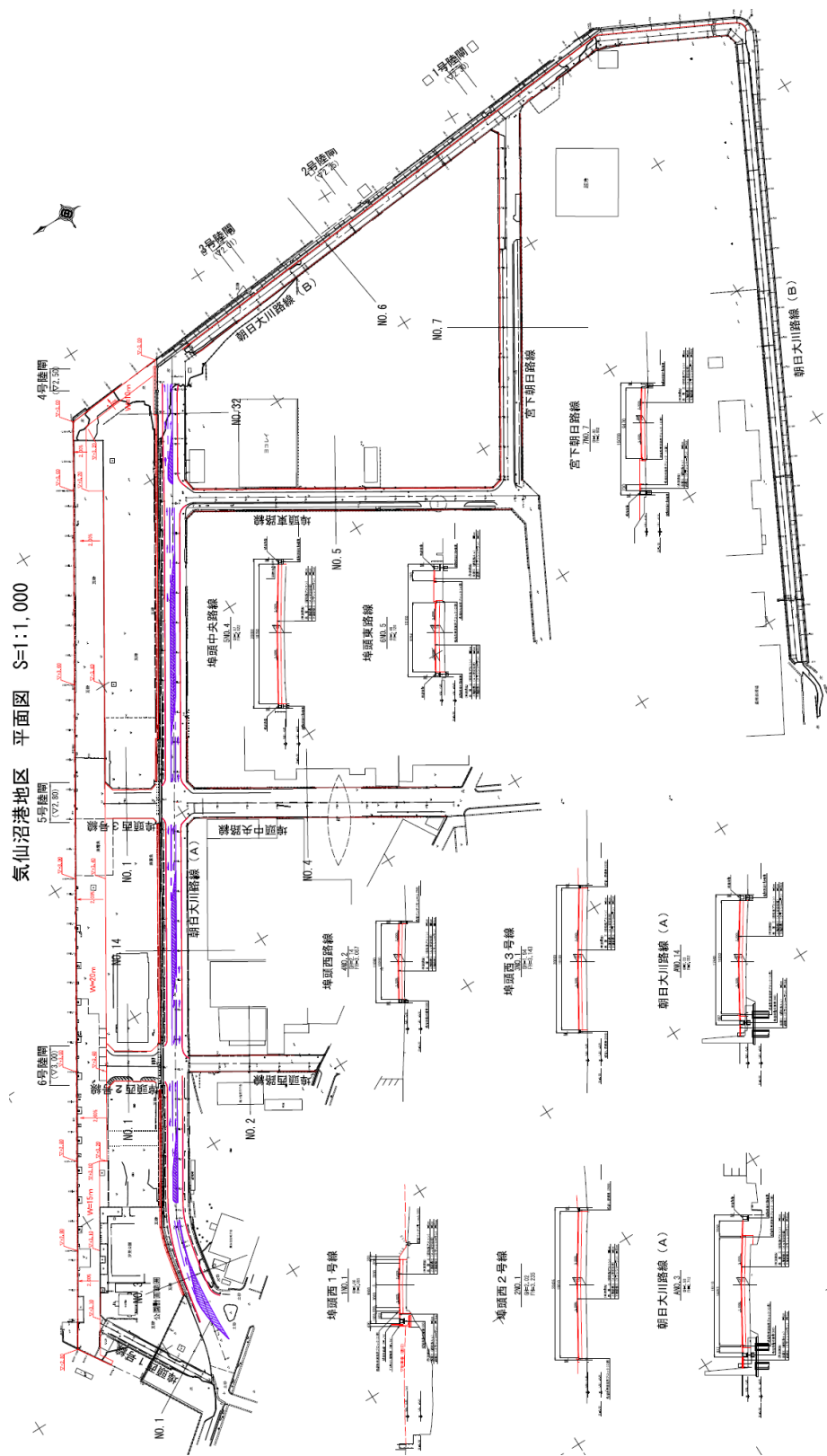
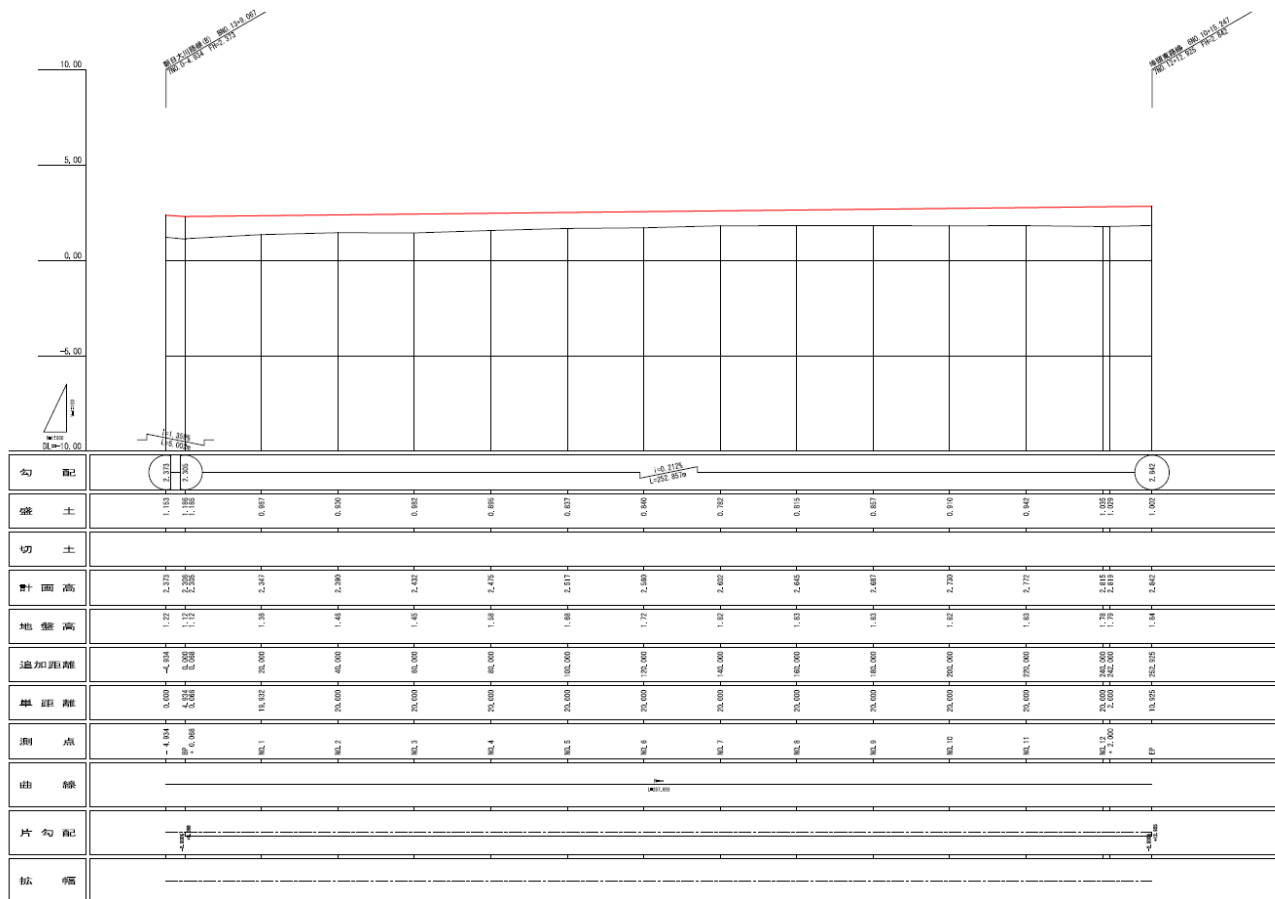


図-A.8.63 NNo.8 宮下朝日路線平面図（復旧後）

気仙沼港地区 宮下朝日路線 縦断図 V=1:100 H=1:500



図一A. 8. 64 NNo. 8 宮下朝日路線縦断図（復旧後）

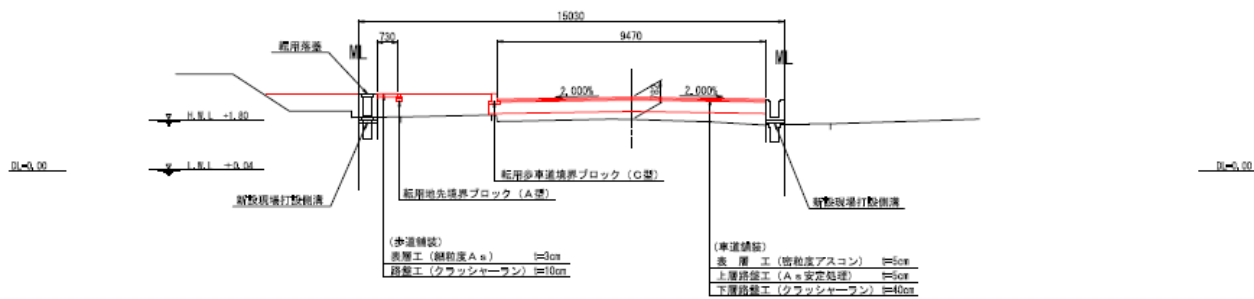
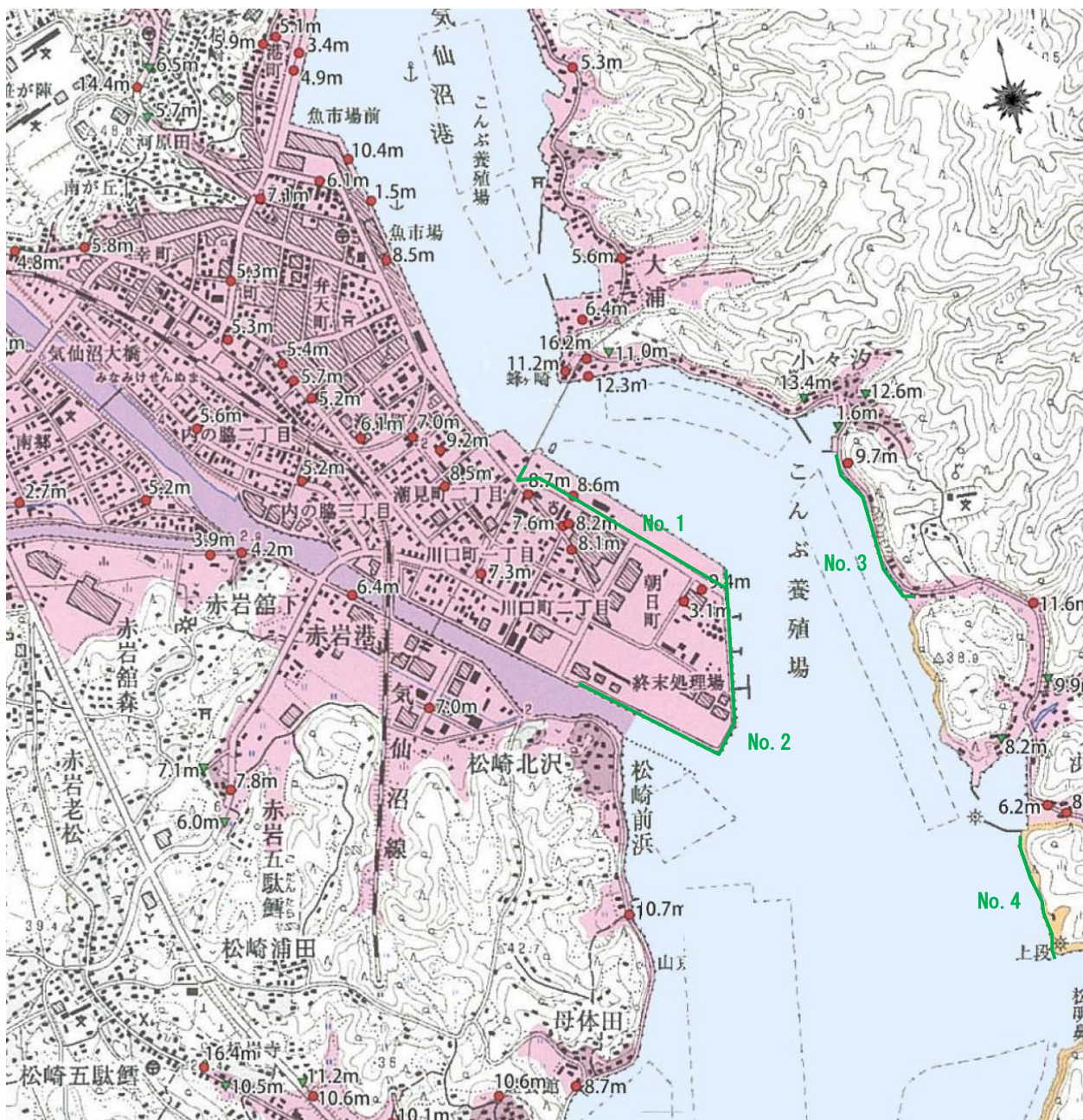


図-A. 8. 65 NNo. 8 宮下朝日路線標準横断図 (復旧後)



図－A. 8. 66 気仙沼港の被災港湾施設（その他，補助） 1)に加筆

表－A. 8. 3 気仙沼港の被災施設一覧（その他，補助）

No.	被災状況	完成年度	延長	構造形式	水深	天端高	設計震度	被災延長
1	朝日地区_胸壁（1）	—	340.0m	—	—	—	0.10	338.3m
	朝日地区_胸壁（2）	—	355.7m	—	—	—		355.7m
2	朝日地区_護岸（1）	—	363.7m	—	—	—	0.10	363.7m
	朝日地区_護岸（2）	—	539.1m	—	—	—		539.1m
3	小々汐地区_護岸	—	515.2m	—	—	—	0.10	515.2m
4	梶ヶ浦地区_護岸	—	366.1m	—	—	—	0.10	366.1m

表-A. 8. 4 No. 1 朝日地区_胸壁の設計条件

設計年度		—
設計延長		胸壁(1) 340.0m 胸壁(2) 355.7m
設計共用期間		—
設計水深		D.L.±0.00m
潮位		HWL+1.80m LWL±0.041m
土質条件	地盤改良	—
	γ_t	—
	ϕ	—
	c	—
波浪条件		—
設計震度		0.15
利用条件（係留施設）		—

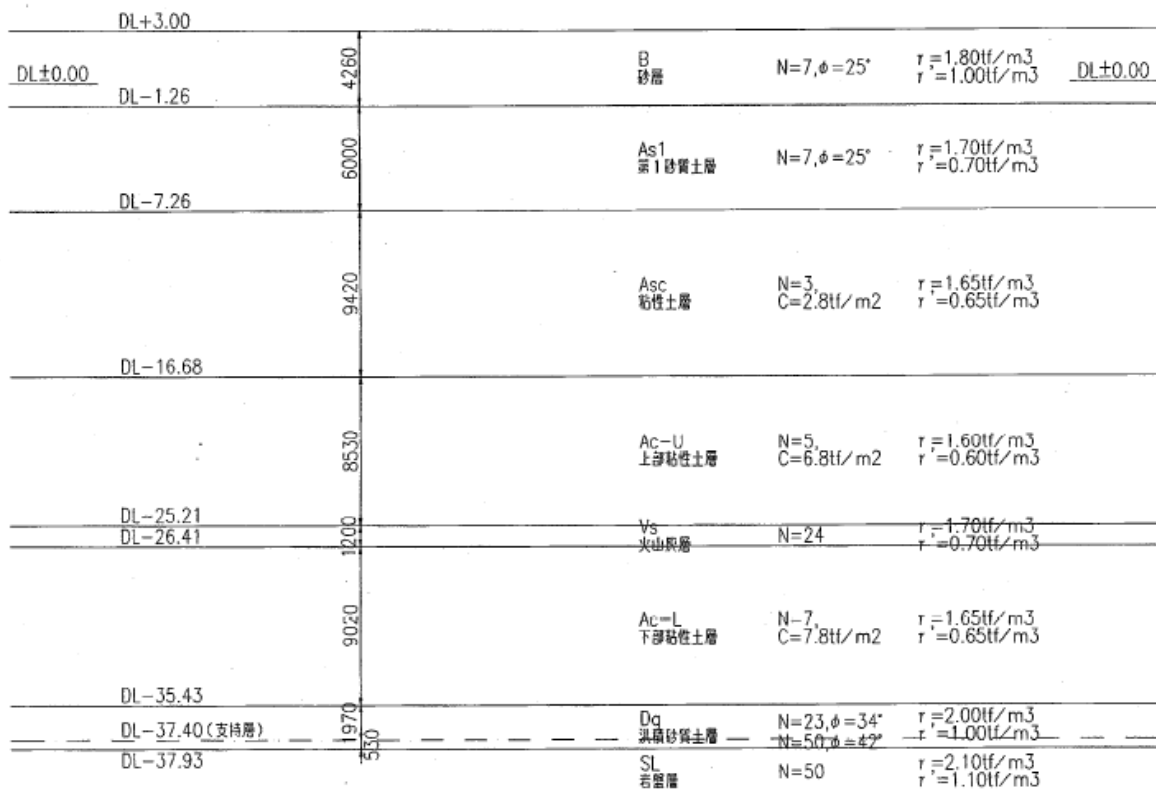


図-A. 8. 67 No. 1 朝日地区_胸壁の土質条件

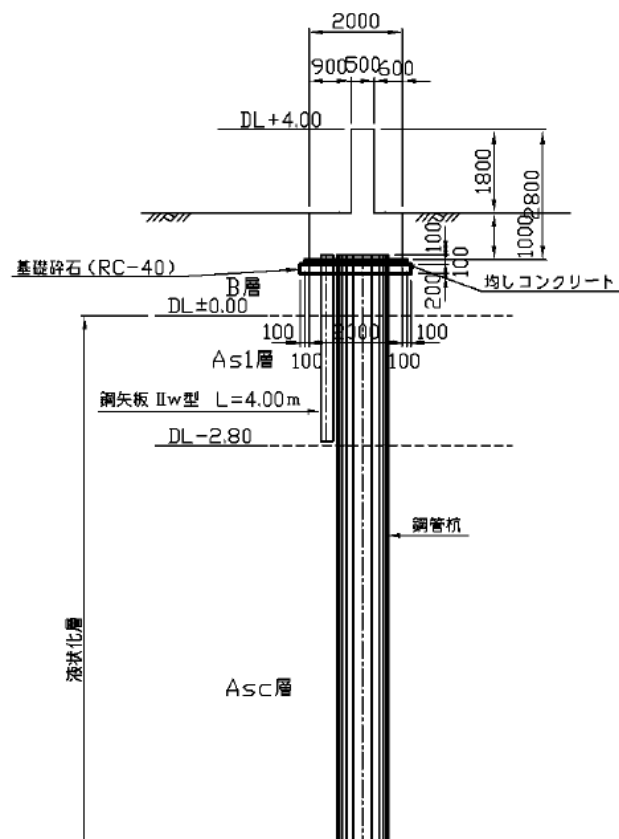


図-A.8.68 No.1 朝日地区_胸壁の断面図 (被災前)

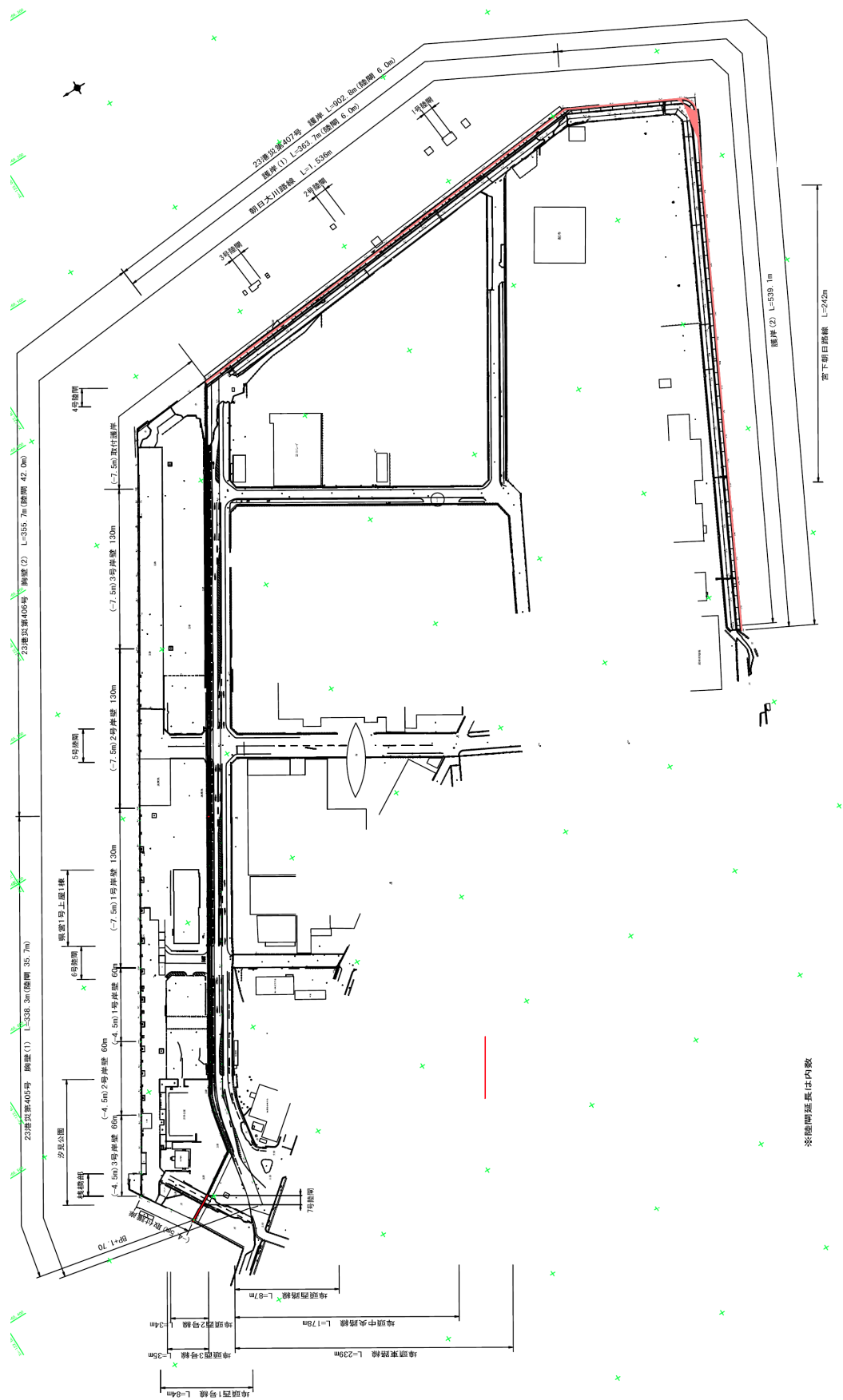


図-A.8.70 No.1 朝日地区_胸壁の平面図(復旧後)

表-A. 8. 5 No. 2 朝日地区_護岸の設計条件

設計年度		—
設計延長		護岸(1)363.7m 護岸(2)539.1m
設計共用期間		—
設計水深		D.L.±0.00m
潮位		HWL+1.80m LWL±0.041m
土質条件	地盤改良	—
	γ_t	—
	ϕ	—
	c	—
波浪条件		—
設計震度		0.10
利用条件（係留施設）		—

使用ボーリング孔 No.20 (標高 + 2.02 m)				
第一層	盛 土	N = 6		
		$\gamma = 1.8 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 1.0 \text{ t/m}^3$		
		$\phi = 27.5^\circ$	$\nabla + 1.02$	
第二層	砂質土	N = 3		
		$\gamma = 1.7 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 1.0 \text{ t/m}^3$		
		$\phi = 25^\circ$	$\nabla - 7.28$	
第三層	粘性土 1	N = 4		
		$\gamma = 1.6 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 0.6 \text{ t/m}^3$		
		C = 4.0 t/m ²	$\nabla - 21.98$	
第四層	粘性土 2	N = 8		
		$\gamma = 1.6 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 0.6 \text{ t/m}^3$		
		C = 5.0 t/m ²	$\nabla - 37.48$	
第五層	礫質土	N = 42		
		$\gamma = 1.85 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 1.0 \text{ t/m}^3$		
		$\phi = 40^\circ$	$\nabla - 41.73$	
第六層	粘板岩	$\gamma = 2.0 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 1.0 \text{ t/m}^3$		

護岸 (1)

$\nabla + 2.16 \text{ (B - 13)}$				
第一層	盛 土	$\gamma = 1.8 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 1.0 \text{ t/m}^3$		
		$\phi = 30^\circ$		
第二層	砂質土	$\gamma = 1.7 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 1.0 \text{ t/m}^3$		
		$\phi = 25^\circ$		
第三層	粘性土 1	$\gamma = 1.65 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 0.65 \text{ t/m}^3$		
		C = 2.0 t/m ²		
第四層	粘性土 2	$\gamma = 1.6 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 0.6 \text{ t/m}^3$		
		C = 4.0 t/m ²		
第五層	礫質土	$\gamma = 1.9 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 1.0 \text{ t/m}^3$		
		$\phi = 40^\circ$		
第六層	粘板岩	$\gamma = 2.0 \text{ t/m}^3$		
		$\gamma' = 1.0 \text{ t/m}^3$		

護岸 (2)

図-A.8.72 No.2 朝日地区_護岸の土質条件

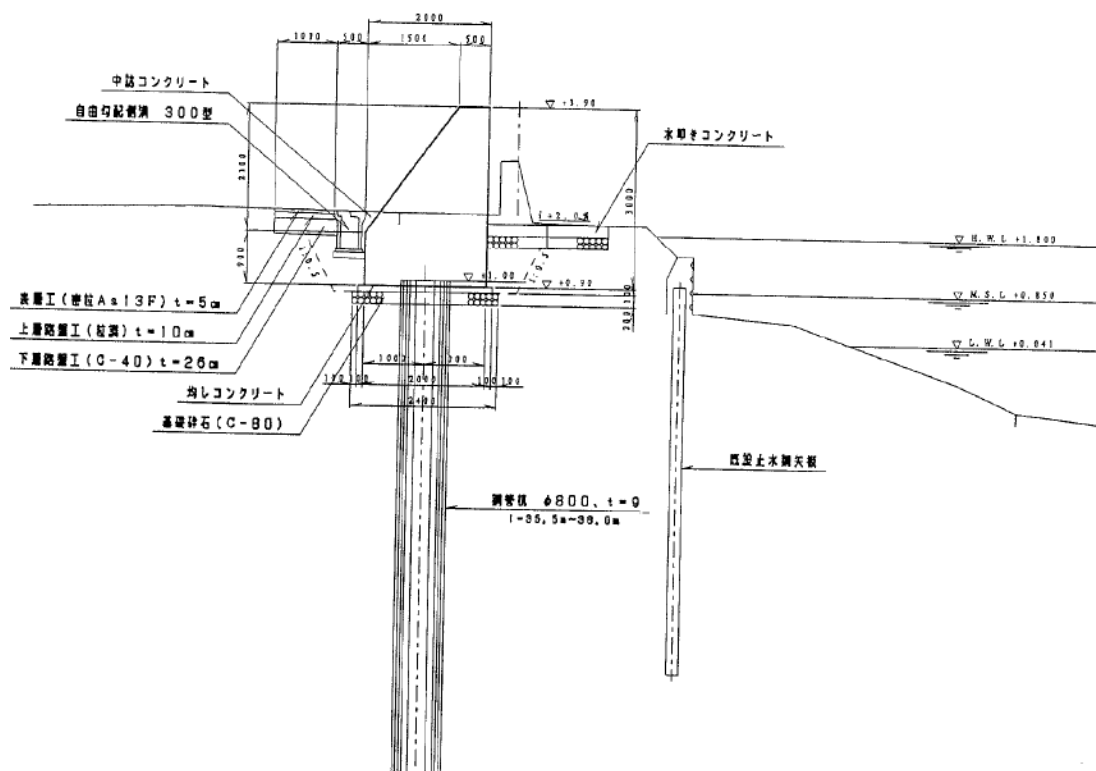


図-A. 8. 73 No. 2 朝日地区_護岸(1)の断面図 (被災前)

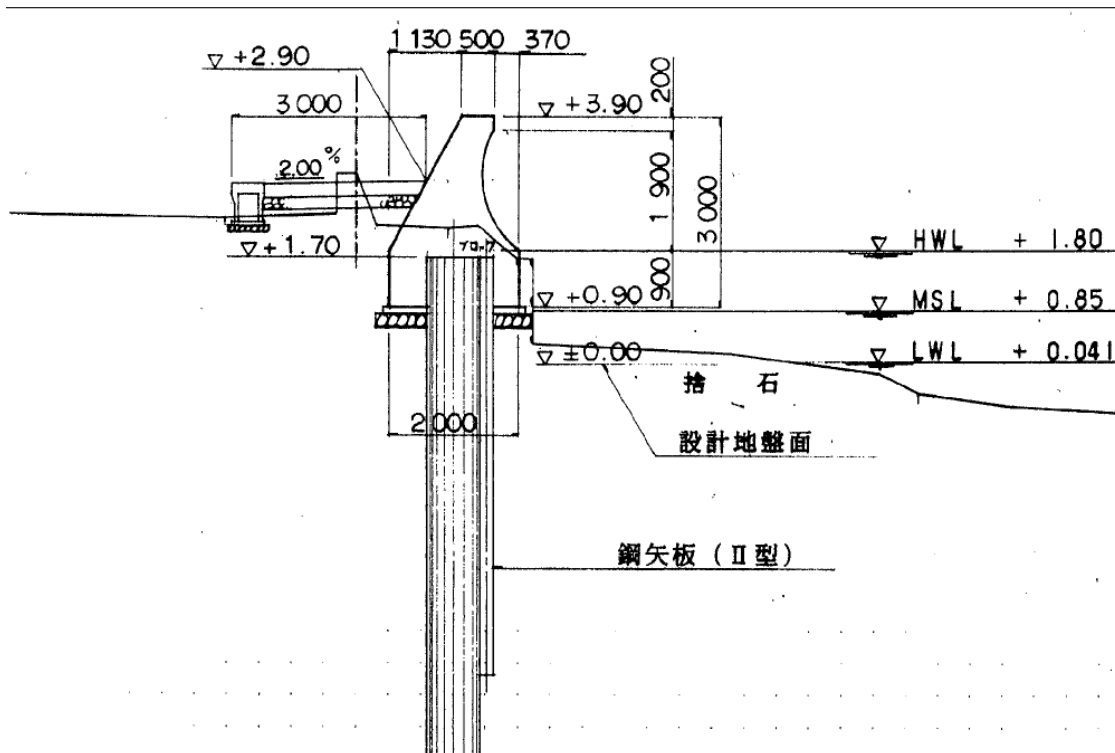


図-A. 8. 74 No. 2 朝日地区_護岸(2)の断面図 (被災前)

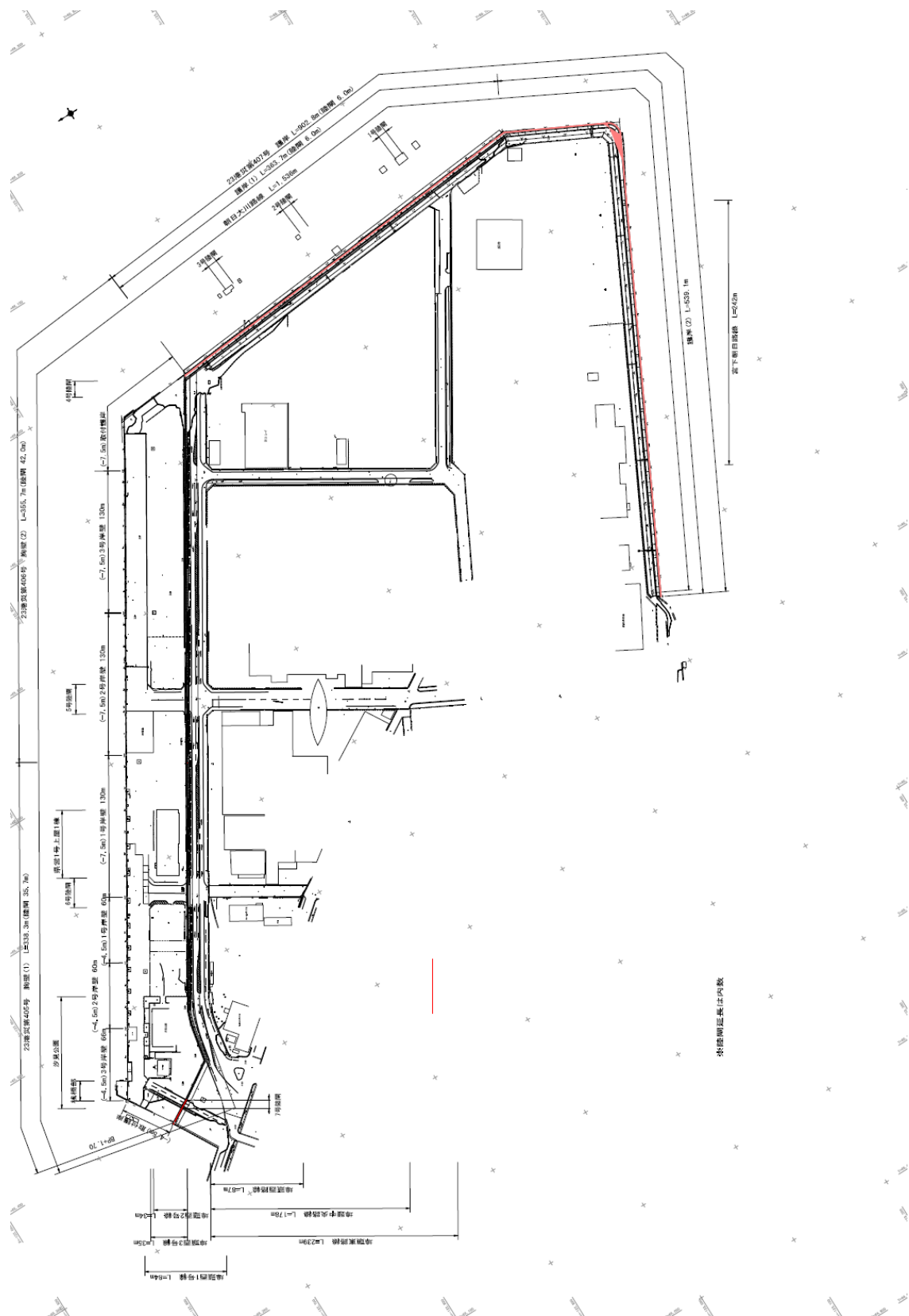


図-A. 8. 76 No. 2 朝日地区護岸の平面図（復旧後）

表-A. 8. 6 No. 3 小々汐地区_護岸の設計条件

設計年度		—
設計延長		護岸515.2m
設計共用期間		—
設計水深		D.L.±0.00m
潮位		HWL+1.80m LWL±0.041m
土質条件	地盤改良	—
	γ_t	—
	ϕ	—
	c	—
波浪条件		—
設計震度		—
利用条件（係留施設）		—

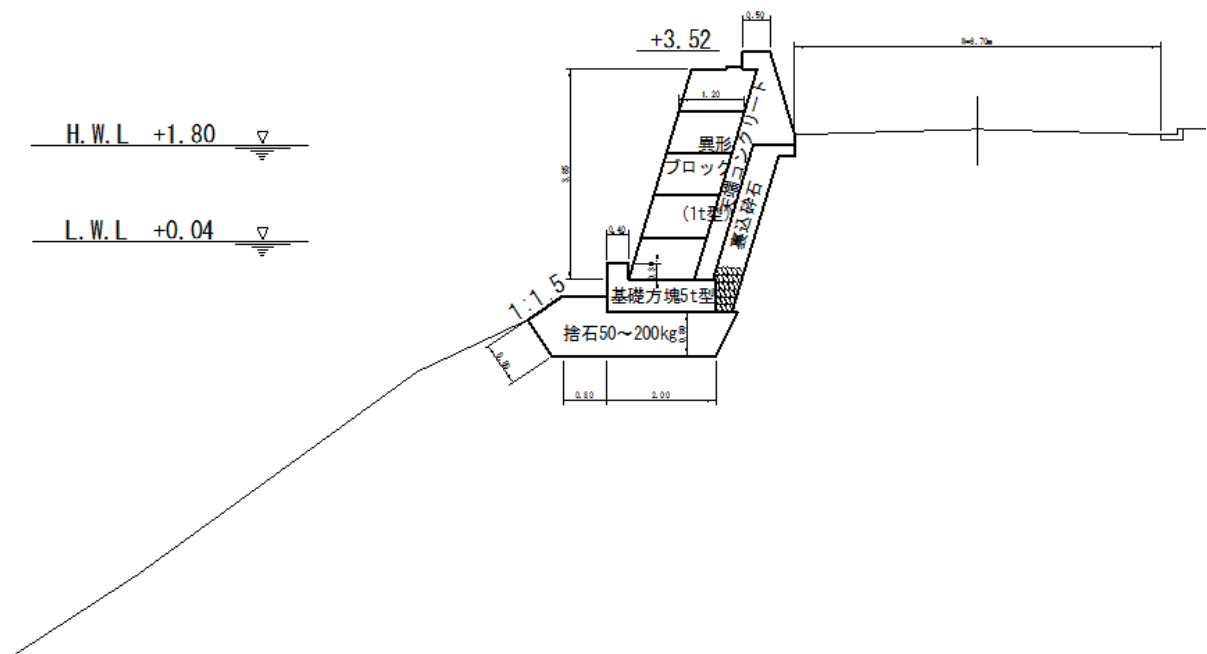
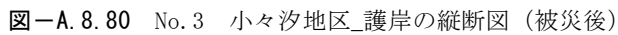
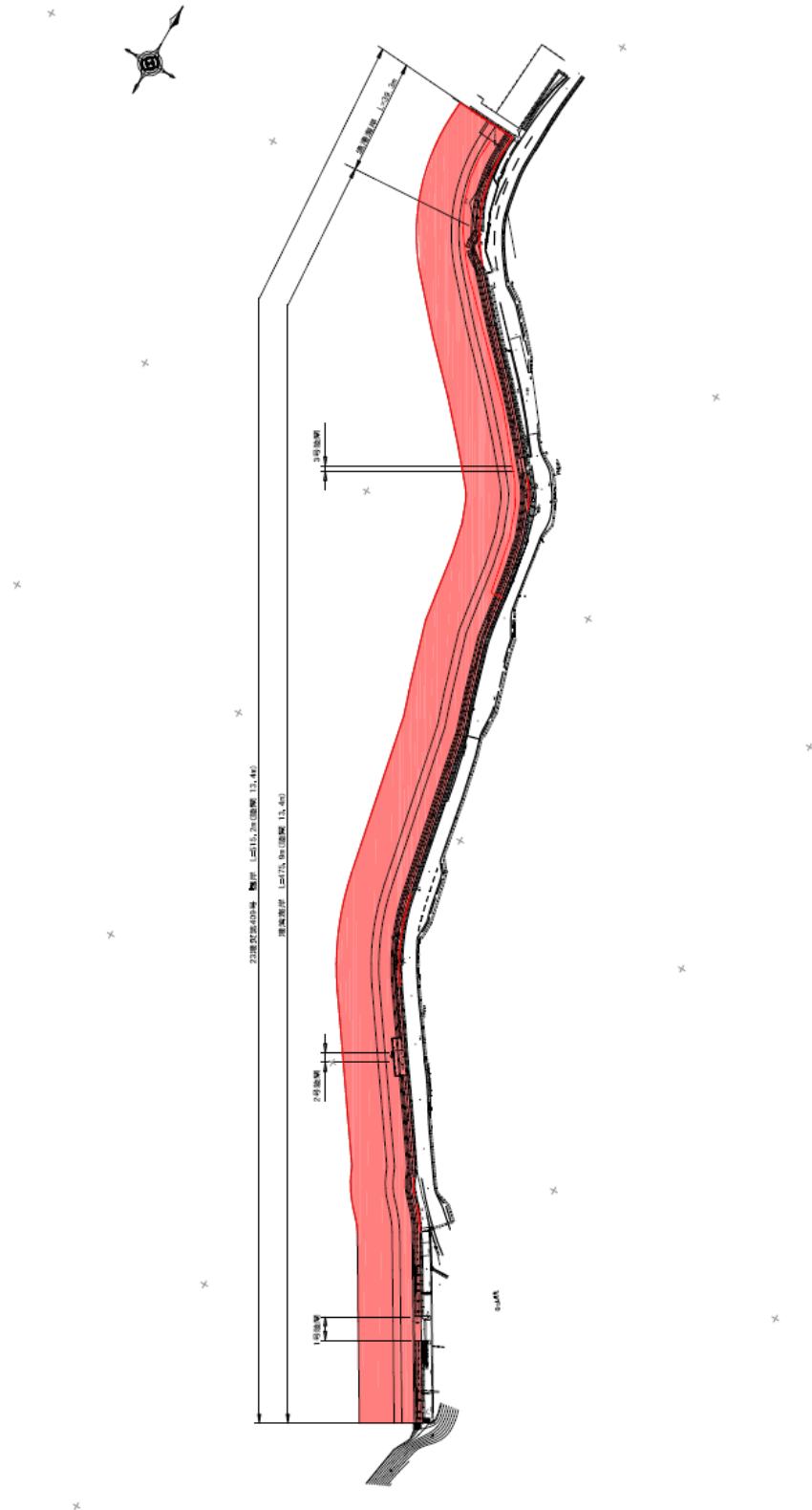


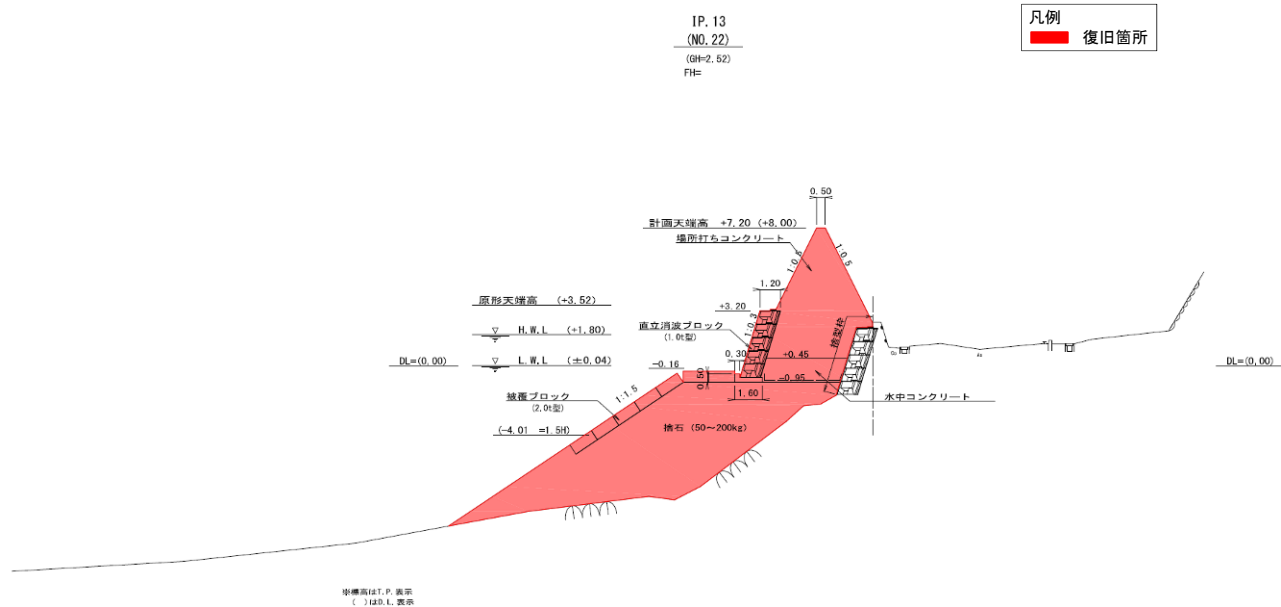
図-A. 8. 79 No. 3 小々汐地区_護岸の断面図（被災前）



小々汐地区 平面図 S=1/1000



図一A. 8. 81 No. 3 小々汐地区_護岸の平面図（復旧後）



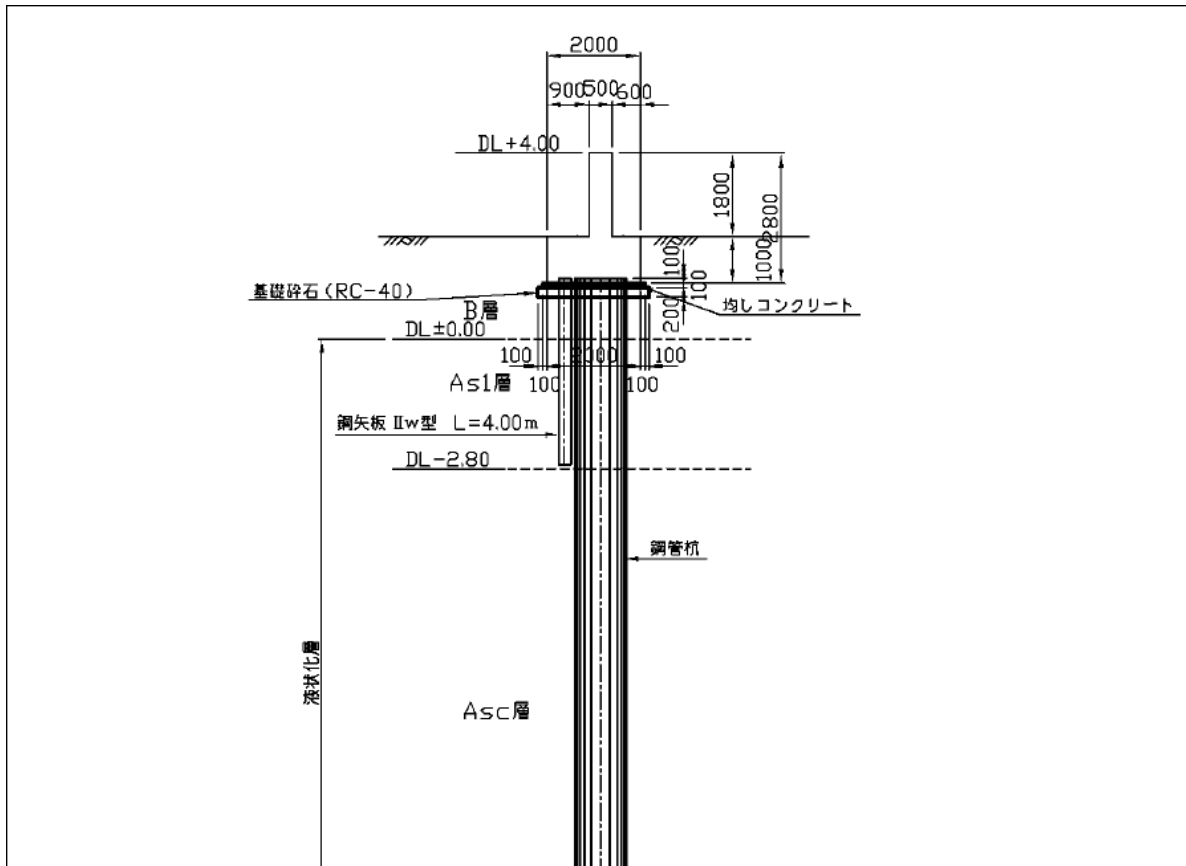
図一A. 8. 82 No. 3 小々汐地区_護岸の標準断面図 (復旧後)

表-A. 8. 7 No. 4 梶ヶ浦地区_護岸の設計条件

設計年度		—
設計延長		護岸366.1m
設計共用期間		—
設計水深		D.L.±0.00m
潮位		HWL+1.80m LWL±0.041m
土質条件	地盤改良	—
	γ_t	—
	ϕ	—
	c	—
波浪条件		—
設計震度		—
利用条件（係留施設）		—

DL+3.00					
DL±0.00	4260	B 砂層	N=7, $\phi=25^\circ$	$r=1.80\text{tf/m}^3$ $r'=1.00\text{tf/m}^3$	DL±0.00
DL-1.26					
	6000	As1 第1砂質土層	N=7, $\phi=25^\circ$	$r=1.70\text{tf/m}^3$ $r'=0.70\text{tf/m}^3$	
DL-7.26					
	9420	Asc 粘性土層	N=3, C=2.8tf/m ²	$r=1.65\text{tf/m}^3$ $r'=0.65\text{tf/m}^3$	
DL-16.68					
	8530	Ac-U 上部粘性土層	N=5, C=6.8tf/m ²	$r=1.60\text{tf/m}^3$ $r'=0.60\text{tf/m}^3$	
DL-25.21					
DL-26.41	1200	Vs 火山灰層	N=24	$r=1.70\text{tf/m}^3$ $r'=0.70\text{tf/m}^3$	
	9020	Ac-L 下部粘性土層	N=7, C=7.8tf/m ²	$r=1.65\text{tf/m}^3$ $r'=0.65\text{tf/m}^3$	
DL-35.43					
DL-37.40(支持層)	1970	Dg 洪積砂質土層	N=23, $\phi=34^\circ$ N=50, $\phi=42^\circ$	$r=2.00\text{tf/m}^3$ $r=1.00\text{tf/m}^3$	
DL-37.93	530	SL 岩盤層	N=50	$r=2.10\text{tf/m}^3$ $r'=1.10\text{tf/m}^3$	

図-A. 8. 83 No. 4 梶ヶ浦地区_護岸の土質条件



図一A. 8. 84 No. 4 梶ヶ浦地区_護岸の断面図 (被災前)

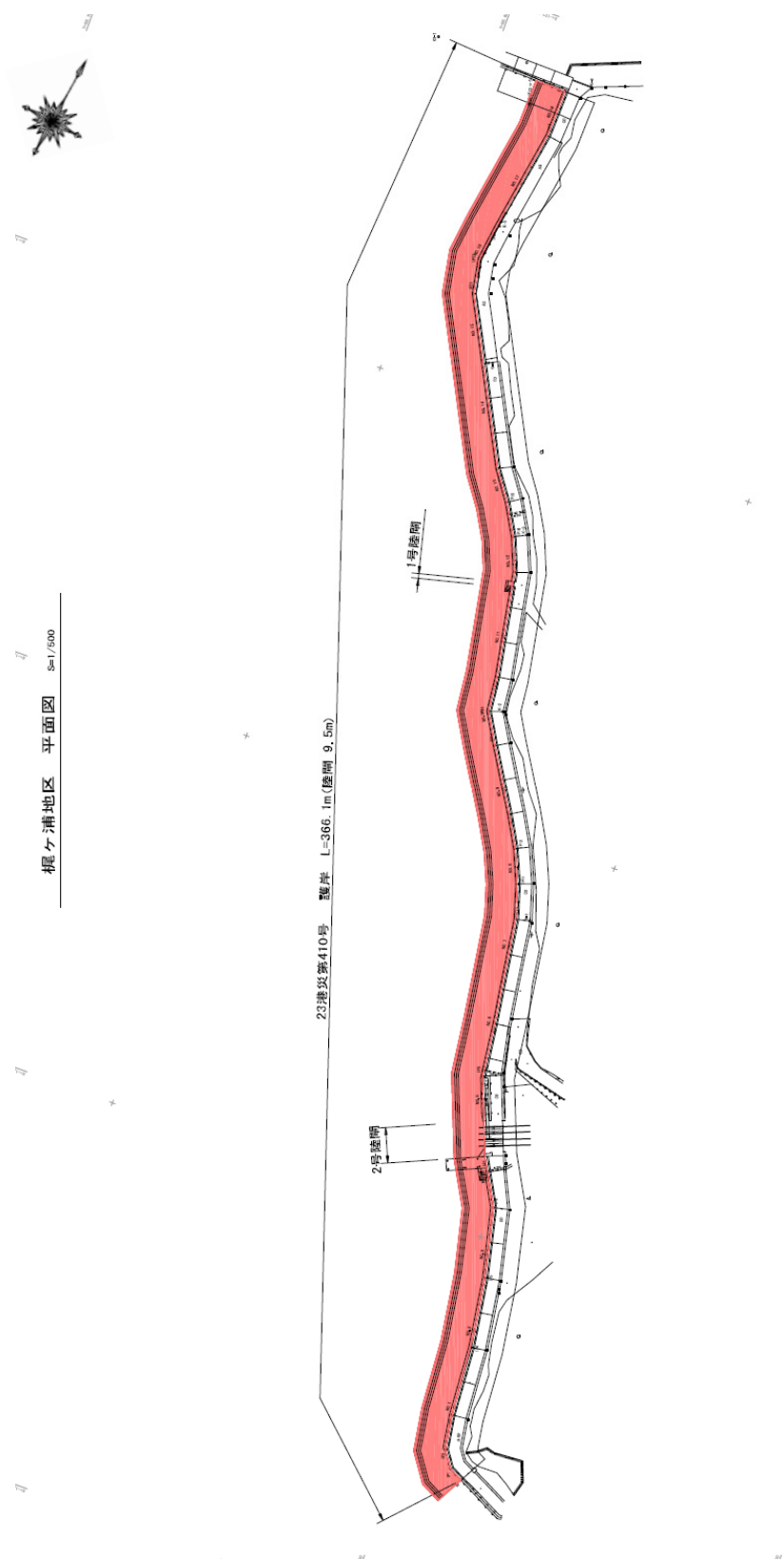


図-A. 8. 86 No. 4 梶ヶ浦地区_護岸の平面図 (復旧後)

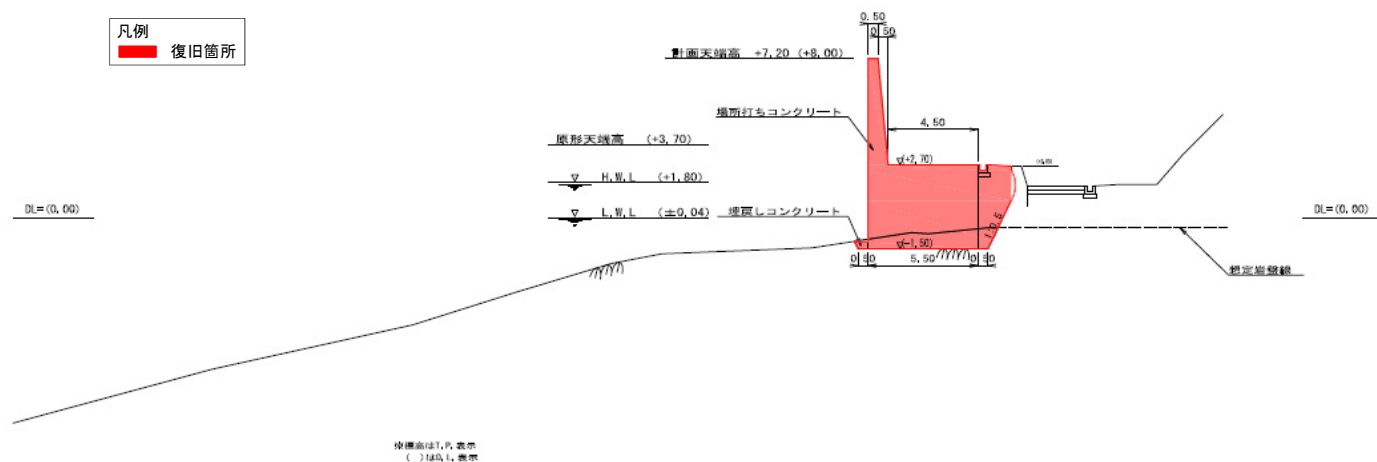


図-A. 8. 87 No. 4 梶ヶ浦地区_護岸の断面図（復旧後）